

社会医療法人 蘇西厚生会

理 念

私たちは、地域中核の社会医療法人として地域住民の皆様に、安全で質の高い医療・福祉を効率的かつ継続的に提供する。

基 本 方 針

私たちは、医療における安全を重視し、患者さん中心の根拠に基づいた医療・福祉サービスを提供します。

私たちは、患者さんや利用者様のプライバシーを守り、権利を尊重します。

私たちは、経営の安定と組織の活性化を図り、職員の働きがいと生活が安定し向上するよう努力します。

行 動 指 針

「和の精神」

信頼と協力は明るい職場をつくる
あい携えて 共に心からの和を誓おう

「信用の向上」

医療機関の生命は信用である
真心で人に接し 熱意をもって仕事に当たり
信用の向上に努めよう

「たくましい実行力」

明日を創造するのは 実行力である
信念と勇気をもって仕事を推し進めよう

1. 沿革

明治 35 年	松波病院開設
明治 44 年	加納町病院として再開設
昭和 8 年	松波外科医院開設
昭和 22 年	松波病院（20 床）開設 [医院廃止]
昭和 32 年	医療法人蘇西厚生会設立
昭和 52 年	CT 装置導入（国内 3 番目）
昭和 54 年	松波病院病床数増床（250 床）
昭和 57 年 4 月 1 日	託児所エンゼル開設
昭和 63 年 2 月 1 日	松波総合病院（437 床）新築移転・開設
	コンピューターによるオーダーリングシステム開始
	MRI（1.5 テスラ）導入（東海地区初）
	松波病院（250 床）廃止
	松波総合病院老人保健施設（146 床）開設
	松波総合病院附属診療所（19 床）開設
平成 4 年 1 月 1 日	笠松町在宅介護支援センターまつなみ受託
平成 6 年 4 月 1 日	臨床研修病院指定
平成 7 年	体外受精成功（県内初）
平成 7 年 12 月 1 日	日本内科学会認定医制度教育病院指定
平成 8 年 12 月 19 日	日本医療機能評価機構 病院機能評価試行受審
平成 9 年 11 月 28 日	生体部分肝移植手術成功（国内の民間病院初）
平成 10 年 4 月 1 日	心臓血管外科開設
平成 10 年 9 月 1 日	まつなみ訪問看護ステーション開設
	生体部分肝移植手術（施設基準）取得
平成 10 年 11 月 1 日	開放型病院（施設基準）取得
平成 11 年 6 月 1 日	神経内科開設
平成 11 年 7 月 1 日	ペインクリニック外来開設
平成 12 年 1 月 1 日	松波総合病院患者家族宿泊施設新設（定員 4 部屋 8 名）
平成 12 年 4 月 1 日	居宅介護支援事業所まつなみ開設
平成 12 年 10 月 1 日	形成外科開設
平成 12 年 12 月 31 日	夜間一般外来廃止
平成 14 年 2 月 1 日	院外処方箋発行開始
平成 14 年 6 月 6 日	一般病床（436 床）として届出
平成 14 年 6 月 30 日	精神科廃止
平成 14 年 7 月 31 日	松波総合病院附属診療所廃止
	松波総合病院附属診療所通所リハビリテーション廃止
平成 14 年 8 月 1 日	まつなみ健康増進クリニック（診療センター、人間ドック・健診センター、人工透析センター）開設
平成 14 年 10 月 1 日	16 列型マルチスライス CT 装置導入（国内 2 番目）
平成 14 年 11 月 1 日	松波総合病院居宅介護支援事業所開設
平成 15 年 1 月 1 日	回復期リハビリテーション病棟（3 階病棟、55 床）開設
平成 15 年 7 月 15 日	禁煙宣言病院（敷地内・建物内完全禁煙 含クリニック）、禁煙外来開設
平成 16 年 1 月 26 日	日本医療機能評価機構 病院機能評価 Ver4 認定

平成 16 年 4 月 1 日	脳下垂体外科専門外来開設 新医師臨床研修病院指定
平成 16 年 6 月 2 日	女性外来開設
平成 16 年 10 月 1 日	呼吸器内科開設
平成 16 年 11 月 1 日	不妊・遺伝相談外来開設
平成 17 年 1 月 17 日	まつなみ在宅総合ケアセンター開設 まつなみ訪問介護ステーション開設
平成 17 年 2 月 1 日	救急救命集中治療センター開設
平成 17 年 10 月 29 日	人間ドック・健診施設機能評価認定
平成 18 年 4 月 1 日	DPC（診断群分類別定額支払い方式）対象病院認可
平成 19 年 3 月 22 日	特定医療法人承認
平成 19 年 6 月 1 日	託児所エンゼル新築移転
平成 19 年 9 月 22 日	肩・スポーツ外来開設
平成 19 年 12 月 1 日	集中治療室（ICU）開設 病床数減（434 床）
平成 20 年 2 月 1 日	重症心疾患患者集中治療室（CCU）開設 病床数減（432 床）
平成 20 年 3 月 31 日	口腔外科廃止
平成 20 年 4 月 1 日	卒後臨床研修評価機構認定病院認定
平成 20 年 10 月 1 日	社会医療法人認定 法人管理センター新築移転
平成 21 年 1 月 1 日	放射線治療装置導入（放射線治療再開）
平成 21 年 1 月 26 日	日本医療機能評価機構 病院機能評価 Ver5 認定
平成 22 年 2 月 1 日	ストーマ外来・女性肛門外来開設
平成 22 年 3 月 1 日	320 列マルチスライス CT 装置導入（県内 2 番目）
平成 22 年 12 月 4 日	外国人看護師候補者 2 名受入（インドネシア：女性 2 名）
平成 22 年 12 月 12 日	内視鏡手術支援ロボット『ダヴィンチ導入』（国内 3 番目）
平成 23 年 2 月 25 日	ドトールコーヒーショップ松波総合病院店 開店
平成 23 年 3 月 30 日	国土交通省 短期入院協力病院 指定
平成 23 年 4 月 20 日	次世代育成対策支援法第 13 条に基づき基準適合一般事業主 認定
平成 23 年 6 月 1 日	松波総合病院クリニカルインディケーター（医療の質の指標）公開
平成 23 年 8 月 22 日	岐阜 DMAT 指定病院 指定
平成 23 年 10 月 26 日	災害拠点病院（地域災害医療センター）指定
平成 24 年 1 月 6 日	外国人看護師候補者 2 名受入（インドネシア：男性 1 名、女性 1 名）
平成 24 年 4 月 26 日	松波総合病院クリニカルインディケーター（医療の質の指標）更新
平成 24 年 6 月 1 日	地域医療介護連携センター 設置
平成 24 年 7 月 24 日	体外衝撃波疼痛治療装置「ドルニエ Epos Ultra」導入
平成 24 年 8 月 31 日	地域医療支援病院に承認
平成 25 年 2 月 2 日	内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ Si」導入（国内 2 番目、国内 2 例目、岐阜県下 1 例目） ※「ダヴィンチ S」からのバージョンアップ
平成 25 年 7 月 4 日	手術支援ロボット「ダヴィンチ Si」を使用した肝臓切除術 県内初成功
平成 25 年 7 月 31 日	松波総合病院クリニカルインディケーター（医療の質の指標）更新
平成 25 年 9 月 1 日	まつなみリサーチパーク 設立
平成 25 年 10 月 17 日・18 日	日本病院機能評価機構 病院機能評価（3rdG:Ver.1.0）受審
平成 25 年 11 月 1 日	松波総合病院障害者短期入所事業所 開設

平成 26 年 1 月 1 日	電子カルテシステムの導入
平成 26 年 1 月 6 日	日本病院機能評価機構 病院機能評価 (3rdG:Ver.1.0) 「一般病院 2 (200 床以上 500 床未満) (主たる機能)」 「リハビリテーション病院 (副機能)」 認定
平成 26 年 1 月 30 日	手術支援ロボット「ダヴィンチ Si」を使用した子宮全摘出手術 院内第一例目実施
平成 26 年 2 月 19 日	特定非営利活動法人卒後臨床研修評価機構による臨床研修評価 受審
平成 26 年 3 月 25 日	外国人看護師候補者 1 名 看護師国家試験合格 (インドネシア: 女性 1 名)
平成 26 年 7 月 22 日	松波総合病院北館 (NORTH WING) 新築開設 (許可病床数 445 床・稼働病床数 432 床) 北館内にハイブリッド手術室を完備 MRI(3.0 テスラ) 導入 (サイレントスキャン 県内 1 番目)
平成 26 年 7 月 29 日	ドクターヘリでの救急搬送第 1 号
平成 26 年 9 月 1 日	HCU 開設 (20 床) 地域包括ケア病棟開設 (55 床)
平成 26 年 12 月 18 日	学校法人朝日大学との教育、研究、医療活動に関する包括的連携協定の締結
平成 27 年 4 月 1 日	松波総合病院南館 (SOUTH WING) 改修に伴い、病床数増床 (501 床)
平成 27 年 4 月 28 日	学校法人聖徳学園との包括的な連携協定を締結
平成 27 年 5 月 1 日	障害者病棟を開設 (59 床)
平成 27 年 6 月 16 日	仕事と子育ての両立支援に積極的に取り組む企業として 2015 年度岐阜県で第 1 号くるみんマーク取得 (4 度目の認定)
平成 27 年 7 月 1 日	岐阜県子育て支援企業に登録
平成 27 年 8 月 1 日	ブライダルチェック外来 開設
平成 27 年 8 月 21 日	まつなみリサーチパーク「在宅医療支援システム」特許取得
平成 27 年 9 月 7 日	まつなみリサーチパーク 科学研究費助成金取扱規程第 2 条第 8 項に規程する研究機関に指定 (県内初)
平成 27 年 10 月 30 日	まつなみリサーチパーク「採血・検査一体型デバイス」特許取得
平成 27 年 11 月 11 日・12 日・13 日	第 26 回 VHJ (Voluntary Hospitals of Japan) 研究会職員交流会主催
平成 27 年 12 月 22 日	学校法人神野学園 岐阜医療科学大学との連携包括協定の締結
平成 28 年 1 月 19 日	ヒト型ロボット「Pepper(ペッパー)」を導入
平成 28 年 3 月 18 日	まつなみリサーチパーク「消化管デバイス」特許取得
平成 28 年 4 月 12 日	『夜尿症外来』をまつなみ健康増進クリニックに開設
平成 28 年 5 月 15 日	熊本地震の被災地医療支援のために災害派遣医療チーム (DMAT) を派遣
平成 28 年 7 月	『非接触・無拘束ベッド見守りシステム』を介護老人保健施設に導入
平成 28 年 9 月 6 日	DMAT 本部機能認定
平成 29 年 2 月 23 日	岐阜県子育て支援エクセレント企業に認定
平成 29 年 3 月 29 日	育児ほほえみ相談事業委託契約締結
平成 29 年 4 月 1 日	東京大学医学部附属病院 22 世紀医療センターの社会連携講座「肥満メタボリックケア」において、東京大学、社会医療法人河北医療財団、ライザップ株式会社との共同研究 (肥満やサルコペニアに関して) を開始
平成 29 年 4 月 3 日	英語版・中国語版ホームページを開設
平成 29 年 10 月 1 日	救急科 (救急総合診療科) を新設
平成 29 年 10 月 3 日	羽島郡広域連合消防本部と共同で病院派遣型の救急ワークステーションの運用を開始
平成 29 年 11 月 1 日	発達障害外来を開設
平成 29 年 11 月 19 日	『輸血機能評価認定施設 (I&A 制度認定施設)』岐阜県内民間病院第一号認定
平成 30 年 3 月 13 日	JMIP (外国人患者受入れ医療機関認定制度) に認定 (県内 2 番目)
平成 30 年 4 月 1 日	卒後臨床研修評価機構 (JCEP) よりエクセレント賞を受賞
平成 30 年 9 月 1 日	無菌治療室 (クリーンルーム) を設置

平成 31 年 1 月 30 日	『岐阜医療圏地域コンソーシアム』協定締結
平成 31 年 2 月 21 日	『健康経営優良法人ホワイト 500』に認定
平成 31 年 3 月 1 日	日本病院機能評価機構 病院機能評価 (3rdG:Ver.2.0) 一般病院 2 (200 床以上 500 床未満) (主たる機能)「リハビリテーション病院 (副機能)」認定
平成 31 年 4 月 27 日	日本感染管理ベストプラクティス "Saizen" 研究会 最優秀ベストプラクティス賞 受賞
令和 元年 8 月 5 日	レストラン『然の膳 松波総合病院店』開店
令和 元年 9 月 9 日	松波総合病院 立体駐車場 完成
令和 元年 9 月 16 日	台風 15 号の被災地支援に全日本病院医療支援班 (AMAT) を千葉県に派遣
令和 元年 10 月 1 日	松波総合病院 ノースウィング増築 完成
	リンパ浮腫外来 嚥下外来 開設
令和 2 年 1 月 11 日	まつなみ医療職体験会 2020 を開催
令和 2 年 2 月 26 日	『特定行為研修指定研修機関』に指定
令和 2 年 3 月 2 日	『健康経営優良法人』に認定
令和 2 年 3 月 26 日	自院救急車を新規購入
令和 2 年 4 月 1 日	松波総合病院 柔道部創部
令和 2 年 6 月 5 日	オンライン面会、面談システムの運用開始
令和 2 年 7 月 1 日	令和 2 年度献血推進功労者表彰
令和 2 年 11 月 11 日	Clarix Japan Excellence Award 2020 受賞
令和 2 年 11 月 25 日	岐阜県介護人材育成事業者認定制度 < ぎふ・いきいき介護事業者 > G1 (グレード 1) 認定
令和 2 年 12 月 1 日	発熱外来ユニット「Gifu CUBE」運用開始
令和 3 年 3 月 22 日	電子カルテシステム 更新

2. 現 況

I 設備・機器概要

1. 診療主要装備

- ・ 超電導型全身用磁気共鳴コンピューター断層撮影装置 (MRI、1.5 テスラ)
- ・ 超電導型全身用磁気共鳴コンピューター断層撮影装置 (MRI、3.0 テスラ)
- ・ 16 列型マルチスライス CT 装置 Light Speed
- ・ 64 列型マルチスライス CT 装置
- ・ 320 列型マルチスライス CT 装置 Aquilion ONE
- ・ 心臓カテーテルエックス線撮影装置 (シネ・アンギオ) 2 基
- ・ 内視鏡手術支援ロボット ダ・ヴィンチ X
- ・ 体外衝撃波疼痛治療装置「ドルニエ Epos Ultra」
- ・ 多軌道断層エックス線撮影装置
- ・ 泌尿器専用エックス線撮影装置
- ・ 骨密度エックス線測定装置
- ・ 乳房専用エックス線撮影装置
- ・ 歯科用パノラマエックス線撮影装置
- ・ ガンマカメラ・試料測定装置 (RI 検査室)
- ・ 血管造影撮影装置
- ・ 人工透析装置
- ・ 直線加速装置 (リニアック)
- ・ エックス線 TV 装置

2. 診療支援装備

- (1) コンピューターによるオーダーリングシステム
CPU:IBM RS-6000 (2 基)、AS-400 (1 基)
PC300PL 105 台、PC300GL 40 台、PC340 15 台 - 自動錠剤分包機にも連動
- (2) コージェネレーションシステム (都市ガス)
需要商用電源の一部補完、低コスト 24 時間空調、給湯
- (3) 三系統電源による無瞬断システム
手術等の場合の電源の緊急対応のセキュリティの確保

II 規模の概況

1. 総合病院

許可病床	501 床 (稼動病床 501 床)
構造規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上 8 階 地下 1 階
(南館) 建築延面積	約 20,000 平方メートル
敷地面積	約 10,000 平方メートル
構造規模	鉄骨造 (S 造) 地上 7 階 ヘリポート
(北館) 建築延面積	約 18,750 平方メートル
敷地面積	約 11,300 平方メートル

【松波総合病院】

施設基準等と診療報酬（基本診療料）

2021.3.31 現在

算定開始日	受理番号	名称
R 3 . 2 . 1	（オン診）第 145 号	オンライン診療料
R 2 . 9 . 1	（一般入院）第 79 号	急性期一般入院料 1 （7 棟 294 床）
H 3 0 . 4 . 1	（障害入院）第 7 号	障害者施設等入院基本料（1 棟 59 床） ※注 9 に規定する 看護補助者加算 30 対 1 夜間看護補助加算 75 対 1
R 2 . 9 . 1	（総合 3）第 6 号	総合入院体制加算 3
R 2 . 4 . 1	（救急医療）第 10 号	救急医療管理加算
H 2 0 . 4 . 1	（超急性期）第 7 号	超急性期脳卒中加算
H 2 6 . 4 . 1	（診療録 1）第 11 号	診療録管理体制加算 1
R 2 . 7 . 1	（事補 2）第 2 号	医師事務作業補助体制加算 2（20 対 1 補助体制加算）
H 3 0 . 8 . 1	（急性看補）第 3 号	急性期看護補助体制加算（50 対 1） ※夜間急性期看護補助体制加算（100 対 1）届出：有 ※夜間看護体制加算届出：有
H 2 7 . 5 . 1	（特施）第 10 号	特殊疾患入院施設管理加算
H 1 8 . 1 0 . 1	（療）第 21 号	療養環境加算
H 1 8 . 1 2 . 1	（重）第 47 号	重症者等療養環境特別加算
H 3 0 . 9 . 1	（無菌 1）第 9 号	無菌治療室管理加算 1
R 1 . 5 . 1	（緩診）第 15 号	緩和ケア診療加算
H 2 2 . 4 . 1	（栄養チ）第 4 号	栄養サポートチーム加算
H 3 0 . 4 . 1	（医療安全 1）第 2 号	医療安全対策加算 1 ※医療安全対策地域連携加算 1 届出：有
H 3 0 . 4 . 1	（感染防止 1）第 5 号	感染防止対策加算 1 ※感染防止対策地域連携加算届出：有 ※抗菌薬適正使用支援加算届出：有
H 2 4 . 4 . 1	（患サポ）第 32 号	患者サポート体制充実加算
H 2 1 . 9 . 1	（褥瘡ケア）第 10 号	褥瘡ハイリスク患者ケア加算
H 2 0 . 4 . 1	（ハイ妊娠）第 17 号	ハイリスク妊娠管理加算
H 2 1 . 4 . 1	（ハイ分娩）第 2 号	ハイリスク分娩管理加算
H 2 2 . 4 . 1	（呼吸チ）第 2 号	呼吸ケアチーム加算
R 2 . 5 . 1	（後発使 1）第 38 号	後発医薬品使用体制加算 1
H 2 7 . 9 . 1	（病棟薬 1）第 22 号	病棟薬剤業務実施加算 1
H 2 8 . 4 . 1	（病棟薬 2）第 2 号	病棟薬剤業務実施加算 2
H 2 6 . 4 . 1	（データ提）第 12 号	データ提出加算 2 イ（200 床以上の病院）
R 2 . 4 . 1	（入退支）第 12 号	入退院支援加算 1 ※地域連携診療計画加算届出：有 ※入院時支援加算届出：有 ※総合機能評価加算届出：有（2020.4.1 新規届出）
H 2 9 . 6 . 1	（認ケア）第 30 号	認知症ケア加算 ※加算区分：1
R 2 . 5 . 1	（せん妄ケア）第 26 号	せん妄ハイリスク患者ケア加算
H 2 8 . 4 . 1	（精疾診）第 4 号	精神疾患診療体制加算
H 3 0 . 8 . 1	（排自支）第 5 号	排尿自立支援加算
R 2 . 4 . 1	（地医確保）第 2 号	地域医療体制確保加算

R 2 . 4 . 1	(集 1) 第 3 号	特定集中治療室管理料 1 ※早期離床・リハビリテーション加算届出: 有 ※早期栄養介入管理加算届出: 有 (2020.4.1 新規届出)
R 2 . 1 1 . 1	(ハイケア) 1 第 7 号	ハイケアユニット入院医療管理料 1
H 1 9 . 5 . 1	(小入 5) 第 10 号	小児入院医療管理料 5
R 2 . 4 . 1	(回 1) 第 2 号	回復期リハビリテーション病棟入院料 1 ※体制強化加算 1 届出: 有
R 2 . 1 0 . 1	(地包ケア 2) 第 9 号	地域包括ケア病棟入院料 2 ※看護職員配置加算 50 対 1: 有 ※看護補助者配置加算 25 対 1: 有

施設基準等と診療報酬（特掲診療料）

2021.3.31 現在

算定開始日	受理番号	名称
R 2 . 4 . 1	(外栄養指) 第 7 号	外来栄養食事指導料
H 2 7 . 2 . 1	(糖管) 第 43 号	糖尿病合併症管理料
H 2 2 . 4 . 1	(がん疼) 第 33 号	がん性疼痛緩和指導管理料
H 2 2 . 4 . 1	(がん指イ) 第 2 号	がん患者指導管理料イ
H 2 6 . 4 . 1	(がん指ロ) 第 7 号	がん患者指導管理料ロ
H 3 0 . 8 . 1	(がん指ハ) 第 21 号	がん患者指導管理料ハ
H 2 8 . 4 . 1	(糖防管) 第 28 号	糖尿病透析予防指導管理料
H 3 0 . 4 . 1	(乳腺ケア) 第 3 号	乳腺炎重症化予防ケア・指導料
R 2 . 9 . 1	(婦特管) 第 23 号	婦人科特定疾患治療管理料
H 2 4 . 4 . 1	(トリ) 第 12 号	院内トリアージ実施料
R 2 . 4 . 1	(救搬看体) 第 2 号	救急搬送看護体制加算 ※加算区分: 1
H 2 4 . 4 . 1	(放射診) 第 5 号	外来放射線照射診療料
H 1 0 . 1 1 . 1	(開) 第 7 号	開放型病院共同指導料
H 2 2 . 4 . 1	(ハイ I) 第 12 号	ハイリスク妊産婦共同管理料 (I)
H 2 5 . 4 . 1	(がん指) 第 464 号	がん治療連携指導料
R 2 . 4 . 1	(外排自) 第 5 号	外来排尿時立指導料
H 2 2 . 4 . 1	(肝炎) 第 13 号	肝炎インターフェロン治療計画料
H 2 2 . 5 . 1	(薬) 第 4 号	薬剤管理指導料 ※医薬品安全性情報等管理体制加算: 有
H 2 8 . 7 . 1	(電情) 第 26 号	検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
H 2 0 . 4 . 1	(機安 1) 第 33 号	医療機器安全管理料 1
H 2 7 . 9 . 1	(在後病) 第 9 号	在宅療養後方支援病院
H 2 4 . 5 . 1	(在看) 第 5 号	在宅患者訪問看護・指導料
H 2 8 . 8 . 1	(持血測 1) 第 16 号	持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合）及び皮下連続式グルコース測定
R 2 . 6 . 1	(持血測 2) 第 6 号	持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合）
H 2 8 . 4 . 1	(遺伝検) 第 3 号	遺伝学的検査
H 2 2 . 4 . 1	(HPV) 第 36 号	HPV 核酸検出及び HPV 核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
H 3 1 . 1 . 1	(検Ⅳ) 第 22 号	検体検査管理加算Ⅳ
H 2 2 . 4 . 1	(血内) 第 13 号	心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算

H 2 4 . 4 . 1	(歩行) 第 5 号	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
H 2 2 . 4 . 1	(長) 第 8 号	長期継続頭蓋内脳波検査
H 2 4 . 4 . 1	(ヘッド) 第 1 号	ヘッドアップティルト試験
H 2 0 . 4 . 1	(神経) 第 17 号	神経学的検査
H 2 8 . 5 . 1	(コン 1) 第 222 号	コンタクトレンズ検査料 1
R 2 . 4 . 1	(経気凍) 第 1 号	経気管支凍結生検法
H 1 8 . 4 . 1	(小検) 第 2 号	小児食物アレルギー負荷検査
H 2 0 . 4 . 1	(画 2) 第 8 号	画像診断管理加算 2
H 2 0 . 6 . 1	(ポ断) 第 14 号	ポジトロン断層撮影
H 2 4 . 4 . 1	(C・M) 第 226 号	CT 撮影及び MRI 撮影 (16 列 CT) ※ 16 列以上 64 列未満のマルチスライス CT ※南館 CT
H 2 4 . 4 . 1	(C・M) 第 227 号	CT 撮影及び MRI 撮影 (320 列) ※ 64 列以上のマルチスライス CT ※南館 CT
H 2 4 . 4 . 1	(C・M) 第 228 号	CT 撮影及び MRI 撮影 (1.5TMRI) ※ MRI (1.5 テスラ以上 3 テスラ未満)

施設基準等と診療報酬 (特掲診療料)

2021.3.31 現在

算定開始日	受理番号	名称
H 2 6 . 7 . 1	(C・M) 第 433 号	CT 撮影及び MRI 撮影 (64 列 CT) ※ 64 列以上のマルチスライス CT ※北館 CT
H 2 9 . 4 . 1	(C・M) 第 471 号	CT 撮影及び MRI 撮影 (3TMRI) ※ MRI (3 テスラ以上)
R 2 . 1 2 . 1	(C・M) 第 563 号	CT 撮影及び MRI 撮影加算 (64 列 CT) ※ 64 列以上のマルチスライス CT
H 2 2 . 3 . 1	(冠動 C) 第 13 号	冠動脈 CT 撮影加算 ※ (C・M) 第 227 号に対する
H 2 6 . 7 . 1	(心臓 M) 第 17 号	心臓 MRI 撮影加算 ※ (C・M) 第 471 号に対する
R 2 . 5 . 1	(全身 M) 第 2 号	全身 MRI 撮影加算
H 2 2 . 4 . 1	(抗悪処方) 第 6 号	抗悪性腫瘍剤処方管理加算
H 2 0 . 4 . 1	(外化 1) 第 34 号	外来化学療法加算 1
R 2 . 4 . 1	(外化連) 第 2 号	連携充実加算
H 2 0 . 4 . 1	(菌) 第 58 号	無菌製剤処理料
R 1 . 8 . 1	(心 I) 第 33 号	心大血管疾患リハビリテーション料 (I) ※初期加算届出: 有
H 2 4 . 4 . 1	(脳 I) 第 12 号	脳血管疾患等リハビリテーション料 (I) 及び廃用症候群リハビリテーション料 (I) ※初期加算届出: 有
H 2 4 . 4 . 1	(運 I) 第 12 号	運動器リハビリテーション料 (I) ※初期加算届出: 有
H 2 4 . 4 . 1	(呼 I) 第 23 号	呼吸器リハビリテーション料 (I) ※初期加算届出: 有
H 2 2 . 9 . 1	(がんリハ) 第 1 号	がん患者リハビリテーション料
H 3 0 . 4 . 1	(集コ) 第 24 号	集団コミュニケーション療法料
R 2 . 4 . 1	(静圧) 第 1 号	静脈圧迫処置 (慢性静脈不全に対するもの)
H 2 2 . 4 . 1	(エタ甲) 第 8 号	エタノールの局所注入 (甲状腺)
H 2 2 . 4 . 1	(エタ副甲) 第 5 号	エタノールの局所注入 (副甲状腺)
H 3 0 . 4 . 1	(人工腎臓) 第 15 号	人工腎臓
H 3 0 . 4 . 1	(導入 1) 第 11 号	導入期加算 1
H 2 6 . 3 . 1	(透析水) 第 38 号	透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
H 2 8 . 4 . 1	(肢梢) 第 13 号	下肢末梢動脈疾患指導管理加算

H 2 9 . 7 . 1	(組再乳) 第 2 号	組織拡張器による再建手術 ((一連につき) 乳房 (再建手術) の場合に限る)
H 3 0 . 4 . 1	(後縦骨) 第 1 号	後縦靱帯骨化症手術 (前方進入によるもの)
R 2 . 4 . 1	(椎醇注) 第 1 号	椎間板内酵素注入療法
H 1 4 . 9 . 1	(脳刺) 第 7 号	脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術
H 1 4 . 9 . 1	(脊刺) 第 5 号	脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
H 3 0 . 1 1 . 1	(内下) 第 4 号	内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘 (亜全摘) 術 (両葉) 内視鏡下副甲状腺 (上皮小体) 腺腫過形成手術
H 2 2 . 4 . 1	(乳セ 1) 第 2 号	乳がんセンチネルリンパ節加算 1
H 2 2 . 4 . 1	(乳セ 2) 第 3 号	乳がんセンチネルリンパ節加算 2
H 2 8 . 1 0 . 1	(乳腫) 第 4 号	乳腺悪性腫瘍手術 ((乳輪温存乳房切除術 (腋窩郭清を伴わないもの) 及び乳輪温存乳房切除術 (腋窩郭清を伴うもの))
H 2 9 . 7 . 1	(ゲル乳再) 第 2 号	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術 (乳房切除後)
H 2 8 . 4 . 1	(肺腫) 第 1 号	肺悪性腫瘍手術 (壁側・臓側胸膜全切除 (横隔膜、心膜合併切除を伴うもの) に限る。)
H 3 0 . 4 . 1	(穿瘻閉) 第 1 号	食道縫合術 (穿孔・損傷) (内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、腎 (腎盂) 腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、膣腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)
R 2 . 4 . 1	(経特) 第 14 号	経皮的冠動脈形成術 (特殊カテーテルによるもの)
R 3 . 3 . 1	(胸腔弁形) 第 5 号	胸腔鏡下弁形成術
R 3 . 3 . 1	(胸腔下置) 第 5 号	胸腔鏡下弁置換術
H 2 2 . 4 . 1	(経中) 第 7 号	経皮的中隔心筋焼灼術
H 1 0 . 4 . 1	(ぺ) 第 13 号	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
H 3 0 . 8 . 1	(ペリ) 第 9 号	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 (リードレスペースメーカー)
H 2 6 . 5 . 1	(両ぺ静) 第 10 号	両心室ペースメーカー移植術 (経静脈電極の場合) 及び両心室ペースメーカー交換術 (経静脈電極の場合)
H 2 6 . 5 . 1	(除静) 第 12 号	植込型除細動器移植術 (経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術 (その他のもの) 及び経静脈電極抜去術
H 2 6 . 5 . 1	(両除静) 第 10 号	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術 (経静脈電極の場合) 及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術 (経静脈電極の場合)
H 1 0 . 4 . 1	(大) 第 9 号	大動脈バルーンパンピング法 (IABP 法)

施設基準等と診療報酬 (特掲診療料)

2021.3.31 現在

算定開始日	受理番号	名称
R 2 . 4 . 1	(経下肢動) 第 1 号	経皮的下肢動脈形成術
H 3 1 . 2 . 1	(バ経静脈) 第 5 号	バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
H 2 3 . 7 . 1	(腹肝) 第 4 号	腹腔鏡下肝切除術
H 1 0 . 9 . 1	(生) 第 1 号	生体部分肝移植術
H 2 4 . 4 . 1	(腹臍切) 第 2 号	腹腔鏡下臍体尾部腫瘍切除術
H 2 7 . 1 . 1	(早大腸) 第 13 号	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
H 1 6 . 3 . 1	(腎) 第 18 号	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
H 2 8 . 4 . 1	(腹腎支器) 第 2 号	腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いるもの)

R 3 . 2 . 1	(腹胃切支) 第 5 号	腹腔鏡下胃切除術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
R 3 . 2 . 1	(腹側胃切支) 第 4 号	腹腔鏡下噴門側胃切除術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
R 3 . 2 . 1	(腹胃全) 第 4 号	腹腔鏡下胃全摘術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
R 2 . 7 . 1	(膀胱) 第 8 号	膀胱水圧拡張術
H 2 5 . 9 . 1	(腹前支器) 第 3 号	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
H 2 8 . 1 0 . 1	(輸血 I) 第 15 号	輸血管理料 I
H 2 8 . 1 0 . 1	(輸適) 第 31 号	輸血適正使用加算
H 3 0 . 4 . 1	(貯輸) 第 4 号	貯血式自己血輸血管理体制加算
H 2 4 . 6 . 1	(造設前) 第 21 号	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
H 8 . 7 . 1	(麻管 I) 第 14 号	麻酔管理料 (I)
H 2 2 . 8 . 1	(麻管 II) 第 5 号	麻酔管理料 (II)
H 2 8 . 4 . 1	(高放) 第 24 号	高エネルギー放射線治療
R 2 . 3 . 1	(病理診 2) 第 8 号	病理診断管理加算 2
H 3 0 . 4 . 1	(悪病組) 第 1 号	悪性腫瘍病理組織標本加算

施設基準等と診療報酬 (入院時食事療養)

2021.3.31 現在

算定開始日	受理番号	名称
S 6 3 . 2 . 1	(食) 第 178 号	入院時食事療養 (I)

施設基準等と診療報酬 (その他の届出)

2021.3.31 現在

算定開始日	受理番号	名称
R 2 . 4 . 1	(酸単) 第 10356 号	酸素単価

施設基準等と診療報酬 (歯科)

2021.3.31 現在

算定開始日	受理番号	名称
R 1 . 6 . 1	(病初診) 第 31 号	地域歯科診療支援病院歯科初診料
H 3 0 . 4 . 1	(医管) 第 847 号	歯科疾患管理料の注 11 に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料
H 3 0 . 4 . 1	(歯リハ 2) 第 209 号	歯科口腔リハビリテーション料 2
H 3 0 . 4 . 1	(補管) 第 1583 号	クラウン・ブリッジ維持管理料
R 3 . 2 . 1	(歯 CAD) 第 910 号	CAD/CAM 冠

施設基準等と診療報酬 (その他の届出)

2021.3.31 現在

算定開始日	受理番号	名称
R 2 . 4 . 1	(酸単) 第 10360 号	酸素単価

【まつなみ健康増進クリニック】

施設基準等と診療報酬（基本診療料）

2021.3.31 現在

算定開始日	受理番号	名称
		該当なし

施設基準等と診療報酬（特掲診療料）

2021.3.31 現在

算定開始日	受理番号	名称
R 3 . 2 . 1	(オン診) 第 144 号	オンライン診療料
R 2 . 4 . 1	(外来食指) 第 6 号	外来栄養食事指導料の注 2 加算
H 2 0 . 6 . 1	(糖管) 第 12 号	糖尿病合併症管理料
H 2 5 . 8 . 1	(がん疼) 第 126 号	がん性疼痛緩和指導管理料
H 2 5 . 1 1 . 1	(がん指イ) 第 24 号	がん患者指導管理料イ
H 2 6 . 4 . 1	(がん指ロ) 第 8 号	がん患者指導管理料ロ
H 2 9 . 6 . 1	(がん指ハ) 第 19 号	がん患者指導管理料ハ
H 2 4 . 4 . 1	(糖防管) 第 8 号	糖尿病透析予防指導管理料
H 2 9 . 7 . 1	(ニコ) 第 13 号	ニコチン依存症管理料
H 2 2 . 4 . 1	(肝炎) 第 11 号	肝炎インターフェロン治療計画料
H 2 8 . 7 . 1	(在看) 第 17 号	在宅患者訪問看護・指導料
R 2 . 5 . 1	(遠隔ペ) 第 21 号	心臓ペースメーカー指導管理料の注 5 に掲げる遠隔モニタリング加算
R 2 . 4 . 1	(先代異) 第 1 号	先天性代謝異常症検査
H 2 6 . 4 . 1	(持血測 1) 第 2 号	持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合）
H 2 4 . 1 2 . 1	(持血測 1) 第 6 号	皮下連続式グルコース測定
R 2 . 4 . 1	(持血測 2) 第 5 号	持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合）
H 2 0 . 4 . 1	(外化 1) 第 35 号	外来化学療法加算 1
R 2 . 4 . 1	(外化連) 第 1 号	連携充実加算

施設基準等と診療報酬（その他の届出）

2021.3.31 現在

算定開始日	受理番号	名称
H 3 1 . 4 . 1	(酸単) 第 10357 号	酸素単価

医学会関連研修・修練施設認定及び指定**学会認定施設**

2021.3.31 現在

日本整形外科学会専門医研修施設
日本眼科学会専門医制度研修施設
日本麻酔科学会麻酔科認定病院
日本泌尿器科学会専門医教育施設
日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設
日本病理学会研修認定施設 A
日本脳神経外科学会専門医訓練施設 (C 項訓練施設)
日本消化器外科学会専門医修練施設
日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本呼吸器外科専門医合同委員会認定修練施設 (関連施設 名古屋市立大学病院)
日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設
日本内科学会認定医制度教育病院
日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
日本消化器内視鏡学会指導施設
日本ペインクリニック学会指定研修施設
日本糖尿病学会認定教育施設
日本臨床細胞学会教育研修施設
日本内分泌学会認定教育施設 (産婦人科)
日本消化器病学会認定施設
日本脳卒中学会認定研修教育病院
マンモグラフィ検診精度管理中央委員会 マンモグラフィ検診施設画像認定施設
日本呼吸器学会認定施設
日本静脈経腸栄養学会 栄養サポートチーム (NST) 専門療法士認定教育施設
日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設
日本心血管インターベンション治療学会研修施設
日本インターベンショナルラジオロジー (IVR) 学会専門医修練認定施設
日本形成外科学会認定施設
日本アレルギー学会教育施設 (小児科)
日本がん治療認定医機構 認定研修施設
日本高血圧学会専門医認定施設
日本集中治療医学会専門医研修施設
日本皮膚科学会認定専門医研修施設
日本透析医学会認定施設
日本臨床細胞学会施設認定
日本臨床腫瘍学会認定研修施設 (連携施設)
日本ステントグラフト実施基準管理委員会 腹部ステントグラフト実施施設
日本手外科学会研修施設
日本脳神経血管内治療学会認定研修施設
オートプシー・イメージング学会 Ai 撮影参加施設
日本ステントグラフト実施基準管理委員会 胸部ステントグラフト実施施設

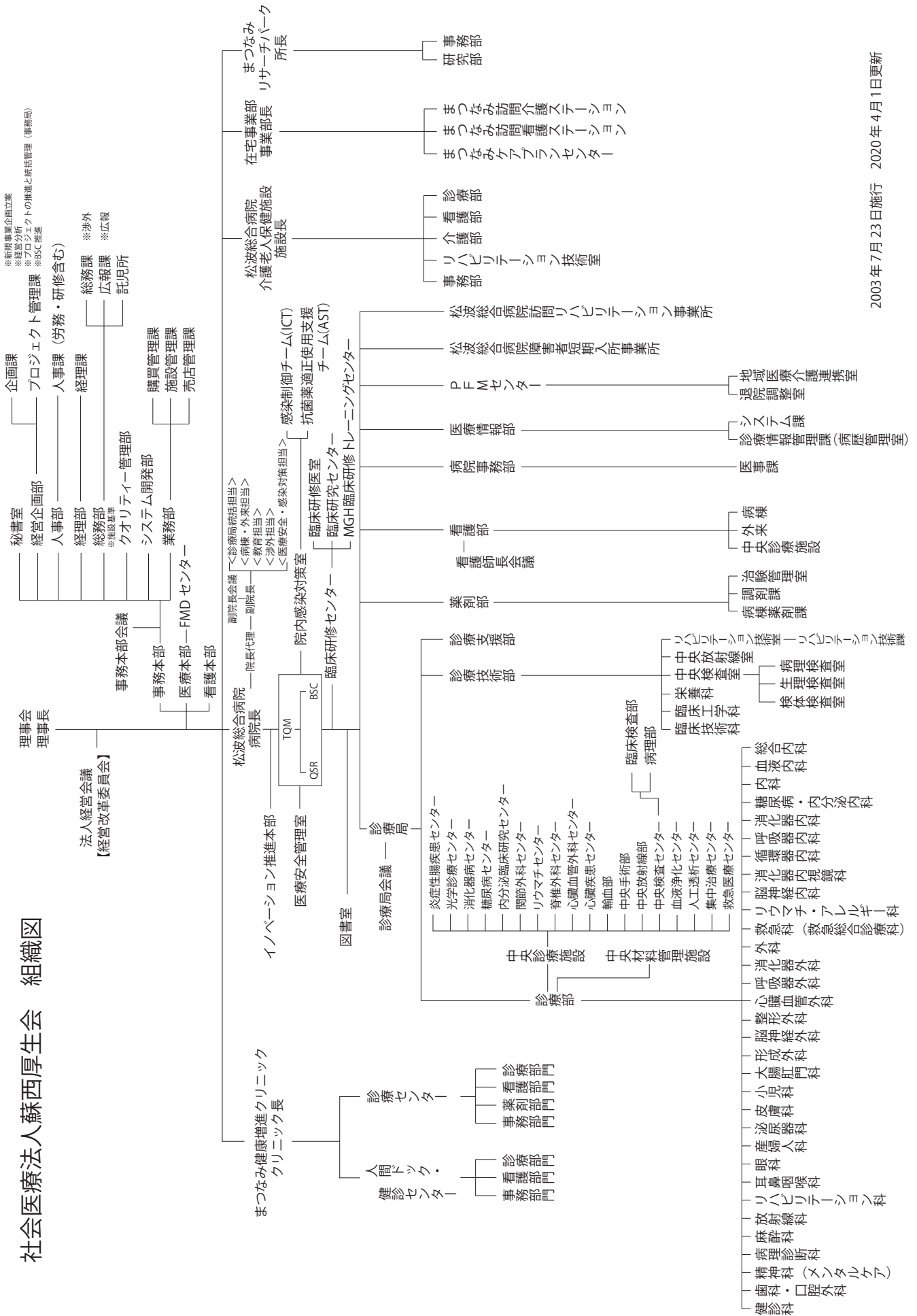
三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
 日本病院総合診療医学会認定施設
 日本病態栄養学会専門医研修認定施設
 日本アレルギー学会 アレルギー専門医教育研修施設（内科）
 日本産科婦人科学会専門研修基幹施設
 日本内分泌外科学会専門医制度関連施設（外科）
 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会エキスパンダー実施施設
 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会インプラント実施施設
 下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会
 下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施施設
 日本救急医学会救急科専門医指定施設
 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 浅大動脈ステントグラフト実施施設
 日本栄養療法推進協議会 NST 稼働施設認定証
 日本感染症学会 研修施設認定証
 日本腎臓学会 研修施設認定証
 日本胆道学会認定指導医制度 指導施設認定
 日本医学放射線学会 放射線科専門医修練機関
 日本血液学会 専門研修認定施設
 日本肥満学会認定肥満症専門病院
 日本膵臓学会 認定指導施設
 日本脊椎脊髄病学会 椎間板酵素注入療法実施可能施設
 日本消化器内視鏡学会 JED Project 参加施設

主要機関指定

2021.3.31 現在

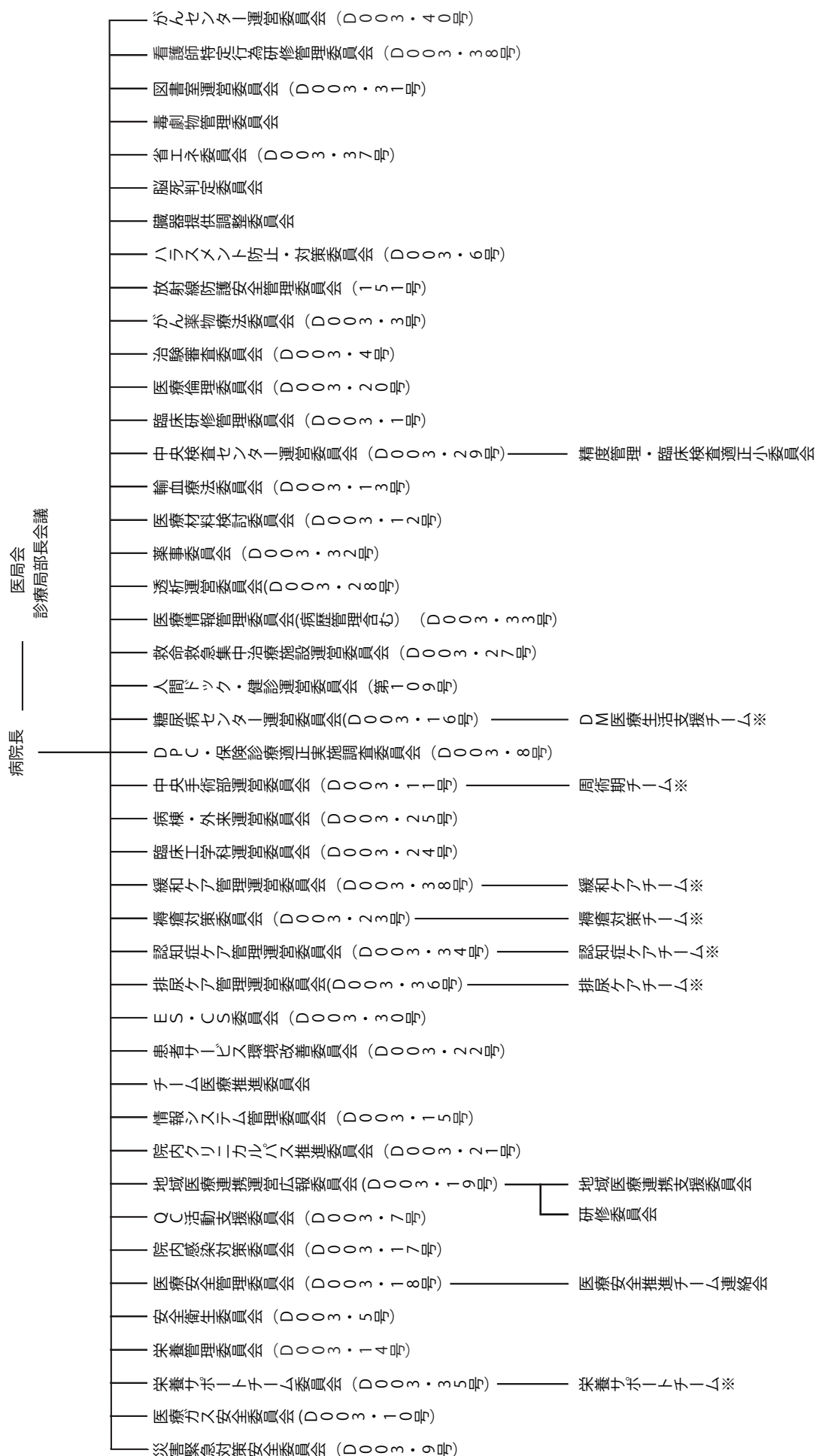
保険医療機関
 臨床研修病院（厚労省）
 特定非営利活動法人卒後臨床研修評価機構認定病院
 日本医療機能評価機構（3rdG:Ver.2.0）認定病院
 肺炎診療専門医療機関
 短期入院協力病院
 岐阜 DMAT 指定病院
 災害拠点病院（地域災害医療センター）
 地域医療支援病院
 岐阜県特定不妊治療費助成事業医療機関
 岐阜県高次脳機能障害支援事業協力医療機関
 救急告示病院
 新型インフルエンザ等対策特別措置法による指定地方公共機関（社会医療法人蘇西厚生会として登録）
 松波総合病院障害者短期入所事業所
 全国がん登録における指定診療所（まつなみ健康増進クリニック）
 日本マタニティフィットネス協会登録施設

社会医療法人蘇西厚生会 組織図



2003年7月23日施行 2020年4月1日更新

松波総合病院 委員会組織図



※印、排尿ケアチーム及び緩和ケアチームは、チーム医療推進委員会の構成員として機能する。

平成15年07月23日施行
令和元年08月01日更新

委員会構成総括表

2021年3月31日現在

委員会の名称	任 務	開催回数	○委員長 ○副委員長 △事務責任者			
			職 位	氏 名	職 位	氏 名
QC 活動支援委員会 (D003-7 号)	医療の質業務改善等 全般	月 1 回	◎ 事務本部副本部長 ○ 看護部副看護部長	足立 明隆 佐藤 裕子	△ 診療情報管理課課長 △ 経営企画部	村山 弘三 福田 浩士
DPC・保険診療適正実 施調査委員会 ※ (D003-8 号)	保険請求業務の改善	月 1 回	◎ 病院長代理 ○ 病院事務部	鶴 見 寿 西部 芳美	△ 診療情報管理課課長	村山 弘三
災害緊急対策安全委員会 ※※ (D003-9 号)	緊急災害対策施行	半期に 1 回	◎ 救急医療センター長 ○ 業務部部长	八十川雄図 杉原 浩二	△ 業務部課長 △ 経営企画部	松枝 俊宏 福田 浩士
薬事委員会 ※※ (D003-32 号)	薬剤の調達管理	四半期 に 1 回	◎ 副院長 兼 医療本部副本部長 ○ 薬剤部部长	村井 敏博 松本 利恵	△ 薬剤部副部長	竹村恵里奈
医療ガス安全委員会 ※※ (D003-10 号)	医療ガスの安全管理	年 1 回	◎ 業務部部长 ○ 薬剤部部长 (薬剤師)	杉原 浩二 松本 利恵	△ 業務部課長	松枝 俊宏
中央手術部運営委員会 (D003-11 号)	手術室の運営	月 1 回(第 4 月曜)	◎ 副院長・手術部部长 ○ クリニック長	松波 紀行 花立 史香	△ 手術室看護師長	大野 智子
医療材料検討委員会 (D003-12 号)	医療材料採用管理	月 1 回	◎ 副院長 ○ 業務部部长	森田 則彦 杉原 浩二	△ 業務部課長	大田 雅也
輸血療法委員会 ※※ (D003-13 号)	輸血療法の安全管理	偶数月に 1 回	◎ 病院長代理 ○ 中央検査室課長	鶴 見 寿 森本 剛史	△ 検査室主任	角田 明美
栄養管理委員会 ※※ (D003-14 号)	栄養管理業務 食品衛生管理	四半期 に 1 回	◎ 副院長 ○ 栄養科課長 (管理栄養士)	林 慎 前田 朋子	△ 栄養科主任 (管理栄養士)	堀 弘美
安全衛生委員会 ※※ (D003-5 号)	職員の健康安全管理	月 1 回	◎ 副院長 ○ 看護部師長	林 慎 木村 信子	△ 人事部長	岩 村 志
情報システム管理委員会 (D003-15 号)	医療情報システムの 管理運営	半期に 1 回	◎ 副院長 (診療局長) ○ 病院長 ○ システム開発部部长	林 慎 松波 和寿 山北 慎吾	△ システム開発部	工藤 洋樹
人間ドック・健診運営 委員会 (第 109 号)	人間ドック業務	年 1 回	◎ 人間ドック・健診センター長 ○ 人間ドック・健診センター部長	林 慎 佐伯 正人	△ 人間ドック・健診センター 主任	伊藤 量彦
糖尿病センター運営委 員会 (D003-16)	生活習慣病の管理 チーム医療の確立 病診連携の推進	年 1 回	◎ 副院長 ○ 看護部部长 ○ 事務本部副本部長	林 慎 伊藤 妙登美 足立 明隆	△ 栄養科	五家 美幸
院内感染対策委員会 ※ (D003-17 号)	感染管理	月 1 回	◎ 病院長代理 ○ 感染管理認定看護師師長	鶴 見 寿 文字 雅義	△ 事務本部長	杉 下 実
医療安全管理委員会 ※ (D003-18 号)	医療事故防止対策	月 1 回	◎ 副院長・呼吸器外科部長 ○ 看護部部长	春日井敏夫 伊藤 妙登美	△ 医療安全管理室	水野 裕也
地域医療連携運営広報 委員会 (D003-19 号)	院内外の連携調整及 び広報活動	月 1 回	◎ 医療本部副本部長 ○ 副院長 (連携担当)	村井 敏博 村山 正憲	△ 地域医療介護連携室課長	西川 哲史
医療倫理委員会 ※※ (D003-20 号)	医療に伴う倫理	四半期 に 1 回	◎ 診療局医療管理監視役 ○ 内分臨牀研究センター長	日置 敦巳 今井 篤志	△ 経営企画部部长	櫃石 秀信
院内クリニカルパス推 進委員会 (D003-21 号)	クリニカルパスの推進 管理	9 回	◎ 副院長 ○ 副看護部長	草深 裕光 三輪 典古	△ 経営企画部部长 □ パス鑑定士 ・オブザーバー	櫃石 秀信 今尾 裕子 残 馬 仁
患者サービス環境改善 委員会 (D003-22 号)	施設及び設備の改善を 含む患者サービス	必要に 応じ	◎ 眼科第一部長 ○ 看護部部长	松波智恵子 伊藤 妙登美	△ 業務部課長	松枝 俊宏
ハラスメント防止・対 策委員会 ※※ (D003-6 号)	ハラスメントの防止 及び排除並びに発生 時の対応	4 ヶ月 に 1 回	◎ 眼科第一部長 ○ 事務部部长	松波智恵子 杉 下 実	△ 人事部長	岩 村 志

褥瘡対策委員会 ※ (D003-23 号)	入院患者の褥瘡予防管理	月 1 回	◎ 形成外科部長 ○ 皮膚・排泄ケア認定看護師	北澤 健 奥田 容子		
臨床工学科運営委員会 (D003-24 号)	医療機器の保守・管理	3ヶ月1回 (3・6・9・12)	◎ 副院長	森田 則彦	△ 臨床工学科部長	足立 光生
病棟・外来運営委員会 (D003-25 号)	病棟及び救急外来管理運営並びに外来業務の管理運営とその連携	月 1 回	◎ 副院長 ○ 看護本部長	森田 則彦 伊藤妙登美	△ クオリティー管理部	水野 裕也
救命救急集中治療施設運営委員会 (D003-27 号)	救命救急集中治療施設の管理運営	月 1 回	◎ 救急科部長兼救急医療センター長 兼集中治療センター長 ○ 循環器内科部長	八十川雄図 小島 好修	○ 麻酔科副部長 △ 地域医療介護連携室課長	田中 亜季 西川 哲史
透析運営委員会 ※ (D003-28 号)	透析センター及び血液浄化センターの運営管理	月 1 回	◎ 血液浄化センター長 兼 人工透析センター長	長谷川義和	△ 臨床工学科主任 (臨床検査技師)	青木 真矢
臨床研修管理委員会 ※ (D003-1 号)	医師研修の運営	月 1 回	◎ 副院長	村山 正憲	△ 臨床研修医室副主任	林 幸太郎
中央検査センター運営委員会 ※ (D003-29 号)	検査センター業務の運営管理	月 1 回	◎ 臨床検査部長兼中央検査センター長 ○ 中央検査室部長 (臨床検査技師)	河合 壽一 酒井 昭嘉	△ 中央検査室副主任 (臨床検査技師)	神谷 敏之
精度管理・臨床検査適正小委員会 ※	精度管理・臨床検査適正化及び運営管理	月 1 回	◎ 臨床検査部長兼中央検査センター長 ○ 中央検査室部長 (臨床検査技師)	河合 壽一 酒井 昭嘉	△ 中央検査室副主任 (臨床検査技師)	神谷 敏之
治験審査委員会 ※※ (D003-4 号)	治験審査の運営管理	月 1 回 (調査審議及び報告事項のない場合等はその限りではない)	◎ 内分泌臨床研究センター長	今井 篤志	△ 薬剤部部長 (薬剤師)	松本 利恵
ES・CS 委員会 (D003-30 号)	患者・職員満足度向上	1回/2ヶ月 (偶数月)	◎ 副院長 ◎ クオリティー管理部部長	松波 紀行 足立 成道	△ クオリティー管理部部長	足立 成道
がん薬物療法委員会 ※ (003-3 号)	がん薬物療法に関する管理・運営	月 1 回	◎ 血液内科部長 ○ 薬剤部部長 (薬剤師)	原 武 志 松本 利恵	△ 薬剤部主任 (薬剤師)	花村 菜月
放射線防護安全管理委員会 ※※ (151 号)	放射線防護安全管理に関する管理・運営	年 2 回	◎ 第二放射線科部長 ○ 中央放射線室 (診療放射線技師)	伊原 昇 萩野 英俊	△ 中央放射線室副主任 (診療放射線技師)	小田 雄亮
臓器提供調整委員会 ※※	臓器提供の調整	随時	◎ 病院長 ○ 脳神経外科部長	松波 和寿 澤田 元史	△ クオリティー管理部部長	足立 成道
脳死判定委員会 ※※	脳死判定	随時	◎ 脳神経外科部長 ○ 介護老人保健施設長	澤田 元史 岩井 知彦	△ クオリティー管理部部長	足立 成道
チーム医療推進委員会	各チーム医療の推進及び普及	月 1 回	◎ 副院長 ○ 看護師長 兼 がん性疼痛看護認定看護師	森田 則彦 小園 典子	△ 病院事務部	長屋 憲治
医療情報管理委員会 ※ (D003-33 号)	医療情報全般の管理及びデータ管理	偶数月に 1 回	◎ 副院長 ○ 経営企画部部長	林 慎 檀石 秀信	△ 診療情報管理課課長	村山 弘三
省エネ委員会 (D003-37 号)	省エネの推進	1回/2ヶ月	◎ 事務本部長 ○ 業務部課長	杉下 実 松枝 俊宏	△ 業務部課長	松枝 俊宏
毒劇物管理委員会 (D003-2 号)	毒劇物管理および保健衛生上の危害防止	年 2 回	◎ 病理診断科部長 ○ 薬剤部部長	鬼頭 勇輔 松本 利恵	△ 病理検査室 検査技師	栗本 幸奈
図書室運営委員会 (003-31 号)	図書の購入並びに管理運営	年 1 回	◎ 副院長 ○ 総務部部長	林 慎 山田 源久	△ 総務部広報課	錦見 秀洋
認知症ケア管理運営委員会 (D003-34 号)	入院患者の認知症予防管理	4月と奇数月 年7回	◎ 精神科部長 ○ 認知症看護認定看護師	小島 久典 住若 智子	△ 病院事務部 医事課主任	社本 六起

排尿ケア管理運営委員会（D003-36 号）	入院患者の排尿自立支援	月 1 回 第 3 木曜	◎ 泌尿器生殖科部長 ○ 看護部主任（皮膚・排泄 ケア認定看護師）	萩原 徳康 鵜飼 淳	△ 病院事務部 医事課	松岡 愛美
栄養サポートチーム委員会（D003-35 号）	栄養サポートの推進 及び普及	月 1 回	◎ 副院長 ○ 内科医員	林 慎 山本 奈央子	△ 栄養科主任	堀 弘 美
緩和ケア管理運営委員会（D003-38 号）	入院患者の緩和ケア を実施し苦痛緩和に 取り組む	偶数月 年 6 回	◎ 副院長 ○ 副院長	春日井 敏夫 松波 紀行	△ 病院事務部 医事課	加納 早弥香
看護師特定行為研修管理委員会 ※※ （D003-39 号）	特定行為研修の運 営・管理	年 2 回	◎ 副院長 ○ 看護本部長	林 慎 伊藤 妙登美	△ 総務部部長	山田 源久
がんセンター運営委員会（D003-40 号）	がんセンターに関す る管理・運営	月 1 回	◎ 病院長代理 ○ 看護本部長	鶴 見 寿 伊藤 妙登美	△ 事務本部長	杉 下 実

※ 診療報酬上必要な委員会

※※ 医療等必要な委員会

会議体構成総括表 2021.3.31 時点

会議の名称	任 務	開催回数	◎議長 ○副議長 △事務責任者				その他 構成員
			職位	氏名	職位	氏名	
理事会	医療法人の管理運営に関すること 賞罰に関すること	月 / 第 4 月曜日 その他必要に応じ	◎ 理事長	松 波 英 寿	△ 事務本部副部長	足 立 明 隆	【医師部門】 花立史香・岩井知彦 【看護部門】 伊藤妙登美 【医師部門】 村井敏博・岩井知彦・松波英一・松波紀行・林慎・森田則彦・村山正憲・春日井敏夫・鶴見寿・花立史香・關野考史・田上真・草深裕光・平山宏史・荒木寛司 【看護部門】 伊藤妙登美 【事務・コメディカル・関連施設関係】（薬剤部）松本利恵・（総務部）山田源久・（まつなみりサーチパーク）合澤一利・（人間ドック・健診センター）佐伯正人
			○ 病院長	松 波 和 寿	△ 事務本部副部長	足 立 明 隆	
			○ 事務本部長	杉 下 実			
法人経営会議	医療法人の管理運営に関すること 賞罰に関すること	月 / 第 2 月曜日 その他必要に応じ	◎ 理事長	松 波 英 寿	△ 事務本部副部長	足 立 明 隆	【医師部門】 村井敏博・岩井知彦・松波英一・松波紀行・林慎・森田則彦・村山正憲・春日井敏夫・鶴見寿・花立史香・關野考史・田上真・草深裕光・平山宏史・荒木寛司 【看護部門】 伊藤妙登美 【事務・コメディカル・関連施設関係】（薬剤部）松本利恵・（総務部）山田源久・（まつなみりサーチパーク）合澤一利・（人間ドック・健診センター）佐伯正人
			○ 病院長	松 波 和 寿	△ 経営企画部部長	檀 石 秀 信	
			○ 事務本部長	杉 下 実			
医局会議	病院の運営に関すること 病院の運営に関すること	月 1 回 月 1 回	◎ 病院長	松 波 和 寿	△ 診療局長	林 慎 明	【医師部門】 各診療科部長・副部長 【事務・コメディカル・関連施設関係】 管理本部長が指名した事務・コメディカル 【看護部門】 看護師長・看護部長が指名した看護師
			◎ 病院長	松 波 和 寿	△ 病院事務部部長	小 林 弘 明	
			○ 診療局長	林 慎 明	△ 病院事務部医事課次長 △ 病院事務部医事課長	長 屋 憲 治 細 野 雄 也	
事務管理者会義	病院の運営に関すること 病院及び看護部の運営に関すること	毎週 1 回 月 2 回	◎ 事務本部長	杉 下 実	△ 人事部長	岩 村 志 志	【医師部門】 診療局長 【看護部門】 看護本部長 【事務・コメディカル関係】 病院事務部長、人事部長、臨床研修医室主任、中央検査室部長、診療放射線室部長、リハビリテーション技術室部長、栄養科主任、臨床工学科部長
			◎ 看護本部長	伊 藤 妙 登 美	△ 各師長（交代）		
			○ 副看護部長	三 輪 典 古			
看護師長会義	病院及び看護部の運営に関すること 勤務医負担軽減策会議	月 2 回 半期 1 回	○ 副看護部長	佐 藤 裕 子	△ 総務部部長	山 田 源 久	【医師部門】 診療局長 【看護部門】 看護本部長 【事務・コメディカル関係】 病院事務部長、人事部長、臨床研修医室主任、中央検査室部長、診療放射線室部長、リハビリテーション技術室部長、栄養科主任、臨床工学科部長
			◎ 病院長	松 波 和 寿			
			○ 事務本部長	杉 下 実			

医師プロフィール（医長以上）

（2020年4月1日現在）

【総合内科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
村山正憲	内科一般 内分泌代謝	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本内分泌学会 日本内分泌学会 日本病院総合診療医学会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 内分泌代謝科（内科）専門医 指導医 認定病院総合診療医	日本内科学会 日本内分泌学会 日本病院総合診療医学会
山田梨絵	内科一般	日本内科学会 日本内科学会 日本糖尿病学会 日本内分泌学会	認定内科医 総合内科専門医 糖尿病専門医 内分泌代謝科（内科）専門医	日本内科学会 日本糖尿病学会 日本内分泌学会 日本感染症学会 日本高血圧学会
傍島卓也	内科一般	日本内科学会 日本内科学会	認定内科医 総合内科専門医	日本内科学会
岩田 暁	内科一般 感染症	日本内科学会 日本内科学会 日本感染症学会 ICD 制度協議会	認定内科医 総合内科専門医 感染症専門医 認定 ICD	日本内科学会 日本感染症学会 日本臨床微生物学会

【内科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
村井敏博	総合内科 消化器疾患 内分泌・代謝学 （糖尿病）	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本糖尿病学会 日本糖尿病学会 ICD 制度協議会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 教育病院指導医 糖尿病専門医 研修指導医 認定 ICD	日本内科学会 日本糖尿病学会 日本消化器内視鏡学会 日本感染症学会
杉本浩志	循環器疾患 一般外科			

安 田 圭 吾	糖尿病 内分泌代謝	日本内科学会 日本内科学会 日本内分泌学会 日本内分泌学会 日本糖尿病学会 日本糖尿病学会 日本臨床検査医学会 日本ステロイドホルモン学会	認定内科医 名誉会員 内分泌代謝科 (内科) 専門医 内分泌代謝科指導医 糖尿病専門医 研修指導医 臨床検査管理医 名誉委員	日本内科学会 日本内分泌学会 日本糖尿病学会 日本ステロイドホルモン学会
草 深 裕 光	内科一般 膠原病 感染症 医療情報	日本内科学会 日本透析医学会 日本 TDM 学会 米国内科学会 日本医師会	総合内科専門医 透析専門医 評議員 FACP (Fellow of the American College of Physicians) 認定産業医	日本内科学会 米国内科学会 (ACP) 日本透析医学会 日本 TDM 学会 日本病院総合診療医学会 日本医療情報学会 日本診療情報管理学会 日本静脈経腸栄養学会 医療の質・安全学会 日本臨床倫理学会 日本クリニカル・パス学会

【医療管理】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
日 置 敦 巳	感染症対策 健康管理	ICD 制度協議会 日本医師会 社会医学系専門医協会 社会医学系専門医協会	認定 ICD 認定産業医 専門医 社会医学系指導医	日本感染症学会 日本産業衛生学会 日本職業・災害医学会 日本臨床寄生虫学会 日本内科学会

【消化器内科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
田 上 真	肝臓治療全般	日本内科学会 日本消化器病学会 日本肝臓学会 日本肝臓学会	認定内科医 消化器病専門医 肝臓専門医 指導医	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本肝臓学会 日本門脈圧亢進症学会 日本肝臓研究会 リザーバー研究会

荒木 寛司	消化器内視鏡診断・ 治療 炎症性腸疾患 門脈圧亢進症	日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本内科学会 日本内科学会 日本門脈圧亢進症学会	消化器内視鏡専門医 指導医 消化器病専門医 指導医 認定内科医 総合内科専門医 技術認定取得医	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本門脈圧亢進症学会 日本肝臓学会
杉原 潤一	肝臓病学 消化器病学	日本内科学会 日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本肝臓学会 日本肝臓学会 日本肝臓学会 ICD 制度協議会	認定内科医 評議員 消化器病専門医 指導医 名誉支部会員 消化器内視鏡専門医 指導医 肝臓専門医 指導医 西部会評議員 認定 ICD	日本内科学会 日本消化器病学会 日本肝臓学会 日本消化器内視鏡学会 日本アフエレス学会 日本急性肝不全研究会 日本感染症学会
伊藤 康文	消化器疾患 内分泌代謝疾患	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本糖尿病学会 日本糖尿病学会 日本内分泌学会 日本内分泌学会 日本肝臓学会 日本ヘリコバクター学会	認定内科医 総合内科専門医 研修指導医 消化器病専門医 指導医 消化器内視鏡専門医 指導医 糖尿病専門医 研修指導医 内分泌代謝科(内科)専門医 内分泌代謝科指導医 肝臓専門医 ピロリ菌感染症認定医	日本内科学会 日本消化器病学会 日本内分泌学会 日本糖尿病学会 日本消化器内視鏡学会 日本肝臓学会 日本ヘリコバクター学会 ヨーロッパ糖尿病学会 腸内細菌学会
早崎 直行	消化器疾患	日本内科学会 日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本医師会	認定内科医 総合内科専門医 消化器病専門医 指導医 消化器内視鏡専門医 指導医 認定産業医	日本内科学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器病学会

浅野 剛之	消化器疾患 内分泌・代謝疾患 総合内科	日本内科学会 日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本化学療法学会 ICD 制度協議会 日本内科学会救急委員会	認定内科医 総合内科専門医 消化器病専門医 消化器内視鏡専門医 抗菌化学療法指導医 指導医 認定 ICD JMECC インストラクター	日本内科学会 日本内分泌学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本東洋医学会 日本糖尿病学会 日本感染症学会 日本化学療法学会 日本腹部救急学会 日本肝臓学会 日本インターベンショナルラジオロジー学会
河口 順二	消化器疾患 胆道・膵臓領域	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本胆道学会 日本膵臓学会 日本肝臓学会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 消化器病専門医 指導医 消化器内視鏡専門医 指導医 指導医 指導医 肝臓専門医	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本胆道学会 日本膵臓学会 日本肝臓学会
中西 孝之	消化器疾患 消化管領域	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 消化器病専門医 指導医 消化器内視鏡専門医	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本肝臓学会 日本消化管学会 日本門脈圧亢進症学会 大腸ステント安全手技研究会

【腎臓内科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
矢島 隆 宏	腎臓疾患 糖尿病	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本腎臓学会 日本腎臓学会 日本透析医学会 日本透析医学会 日本高血圧学会 日本高血圧学会 日本内分泌学会 日本糖尿病学会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 腎臓専門医 指導医 透析専門医 指導医 専門医 指導医 内分泌代謝（内科）専門医 糖尿病専門医	日本内科学会 日本腎臓学会 日本透析医学会 日本高血圧学会 日本内分泌学会 日本糖尿病学会 日本リウマチ学会

【呼吸器内科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
坂 英 雄	肺がんの化学療法 気管支鏡による診断・治療 呼吸器インターベンション	日本内科学会 日本内科学会 日本呼吸器学会 日本呼吸器学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本臨床腫瘍学会 日本臨床腫瘍学会 日本がん治療認定機構 Bronchoscopy International	認定内科医 総合内科専門医 呼吸器専門医 指導医 気管支鏡専門医 気管支鏡指導医 がん薬物療法専門医 指導医 がん治療認定医 Master Instructor	日本内科学会 日本呼吸器学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本癌学会 日本臨床腫瘍学会 日本肺癌学会 日本肺癌治療学会 日本メディカル AI 学会 American Society of Clinical Oncology American Thoracic Society American College of Chest Physicians,Fellow Asian-Pacific Association for Bronchology and Interventional Pulmonology Asian-Pacific Society of Respiriology European Respiratory Society International Association for the Study of Lung Cancer World Association for Bronchology and Interventional Pulmonology

小 牧 千 人	呼吸器疾患 (特に肺癌の診断と 治療 (内科的)) 肺感染症 喘息	日本内科学会 日本内科学会 日本呼吸器学会 日本呼吸器学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本がん治療認定医機構 日本臨床腫瘍学会 日本臨床腫瘍学会 日本アレルギー学会 日本感染症学会 日本感染症学会 日本結核病学会 ICD 制度協議会 日本医師会 厚生労働省	認定内科医 総合内科専門医 呼吸器専門医 指導医 気管支鏡専門医 気管支鏡指導医 がん治療認定医 がん薬物療法専門医 指導医 指導医 (内科) 感染症専門医 指導医 結核・抗酸菌症指導医 認定 ICD 認定産業医 労働衛生コンサルタント	日本内科学会 日本呼吸器学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本臨床腫瘍学会 日本肺癌学会 日本感染症学会 日本アレルギー学会
---------	---	--	---	---

【循環器内科】

医 師 名	専 門 分 野	取 得 資 格	所 属 学 会
森 田 則 彦	循環器疾患 (心臓・大動脈・末 梢血管)	日本内科学会 日本内科学会 日本循環器学会 日本心血管インターベンション治療学会 日本心血管インターベンション治療学会	認定内科医 評議員 循環器専門医 認定医 専門医
上 野 勝 己	循環器疾患 (カテーテル治療)	日本内科学会 日本内科学会 日本循環器学会 日本心血管インターベンション治療学会	認定内科医 総合内科専門医 循環器専門医 専門医

小 島 好 修	心疾患全般	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本循環器学会 浅大腿動脈ステントグラフト実施基準管理委員会 日本心血管インターベンション治療学会 日本心不全学会、日本不整脈心電学会 厚生労働省 日本救急医学会	認定内科医 総合内科専門医 JMECC インストラクター 循環器専門医 血管内治療実施医 認定医 植込み型除細動器/ペースティングによる不全治療研修了 日本 DMAT 隊員 ICLS	日本循環器学会 日本内科学会 日本心血管インターベンション治療学会 日本静脈学会
近 藤 裕 樹	循環器疾患全般	日本内科学会 日本内科学会 日本循環器学会 日本心血管インターベンション治療学会 浅大腿動脈ステントグラフト実施基準管理委員会 日本心不全学会、日本不整脈心電学会	認定内科医 総合内科専門医 循環器専門医 認定医 血管内治療実施医 植込み型除細動器/ペースティングによる不全治療研修了	日本内科学会 日本循環器学会 日本心血管インターベンション治療学会
江 崎 正 泰	循環器疾患	日本循環器学会 日本内科学会 日本糖尿病協会 日本医師会	循環器専門医 認定内科医 日本糖尿病協会登録医 認定産業医	

【血液・腫瘍内科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
鶴見 寿	血液疾患	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本臨床内科医会 日本血液学会 日本血液学会 日本血液学会 日本消化器内視鏡学会 日本臨床腫瘍学会 日本臨床腫瘍学会 日本臨床腫瘍学会 日本がん治療認定機構 日本エイズ学会 日本エイズ学会 日本造血細胞移植学会 日本輸血・細胞治療学会 ICD 制度協議会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 評議員 臨床内科専門医 血液専門医 指導医 評議員 消化器内視鏡専門医 がん薬物療法専門医 指導医 評議員 がん治療認定医 認定医 認定指導医 造血細胞移植認定医 東海支部協議員 認定 ICD	日本内科学会 日本血液学会 日本臨床腫瘍学会 日本エイズ学会 日本造血細胞移植学会 米国血液学会 日本感染症学会
原 武 志	血液疾患	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本血液学会 日本血液学会 日本血液学会 日本臨床腫瘍学会 日本臨床腫瘍学会 日本がん治療認定医機構 ICD 制度協議会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 血液専門医 指導医 東海地区評議員 がん薬物療法専門医 指導医 がん治療認定医 認定 ICD	日本内科学会 日本血液学会 日本臨床腫瘍学会 米国血液学会 日本感染症学会
李 心	血液内科、腫瘍内科、内科一般	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本血液学会 日本血液学会 日本臨床腫瘍学会 ICD 制度協議会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 血液専門医 指導医 がん薬物療法専門医 認定 ICD	日本血液学会 日本内科学会 日本造血細胞移植学会 日本臨床腫瘍学会 日本感染症学会
藤田 慧	白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、貧血	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本血液学会 日本血液学会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 血液専門医 指導医	日本血液学会 日本内科学会 日本臨床腫瘍学会

【小児科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
林 照 恵	気管支喘息 アレルギー疾患 小児発達	日本小児科学会 日本アレルギー学会 日本小児科医会 日本小児科医会 日本小児科医会	小児科専門医 アレルギー専門医(小児科) 「子どもの心」相談医 地域総合小児医療認定医 地域総合小児医療 認定医指導者	日本小児科学会 日本アレルギー学会 日本小児アレルギー学会 日本小児神経学会 日本小児感染症学会 日本小児リウマチ学会 日本周産期・新生児医学会

【外科・消化器外科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
松 波 英 一	大腸肛門科領域全般	日本外科学会	認定医	日本外科学会 日本医師会

松 波 英 寿	一般外科 移植外科	日本外科学会 日本外科学会 日本臨床外科学会 日本消化器外科学会 日本移植学会 日本移植学会 細胞治療認定管理師制度協議会 日本肝移植研究会 日本臓器保存生物医学会 日本医師会	外科専門医 指導医 評議員 認定医 移植認定医 代表員 細胞治療認定管理師 世話人 評議員 認定産業医	The Transplantation Society The Transplantation Society of Australia and New Zealand The International Society for Artificial Organs 日本外科学会 日本臨床外科学会 日本移植学会 日本消化器外科学会 日本消化器病学会 日本肝臓学会 日本肝移植研究会 日本臓器保存生物医学会 日本外科系連合学会 日本癌治療学会 日本内視鏡外科学会 日本ロボット外科学会 東海外科学会 日本肝癌研究会 日本輸血細胞治療学会 日本内視鏡下肥満・糖尿病外科研究会 日本肥満学会 セルロース学会 日本公衆衛生学会 日本臨床検査医学会 日本肥満症治療学会
關 野 考 史	消化器外科（腹腔 鏡下大腸切除等） 内分泌外科(甲状腺等)	日本外科学会 日本外科学会 日本外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器病学会 日本肝臓学会 日本肝臓学会 日本内視鏡外科学会	認定医 外科専門医 指導医 消化器外科専門医 指導医 消化器がん外科治療認定医 消化器病専門医 肝臓専門医 暫定指導医 技術認定(消化器・一般外科)	日本外科学会 日本消化器外科学会 日本内視鏡外科学会 日本ロボット外科学会 日本食道学会 日本胃癌学会 日本肝胆膵外科学会 日本大腸肛門病学会 日本消化器病学会 日本肝臓学会 日本内分泌外科学会 日本臨床外科学会

木村真樹	上部消化管内視鏡 ロボット支援手術 肝胆膵外科 甲状腺外科	日本外科学会 日本外科学会 日本外科学会 日本臨床外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器外科学会 日本がん治療認定医機構 日本食道学会 日本肝胆膵外科学会 日本肝胆膵外科学会 日本内視鏡外科学会 日本内視鏡外科学会	認定医 外科専門医 指導医 評議員 消化器外科専門医 指導医 消化器がん外科治療認定医 がん治療認定医 食道科認定医 肝胆膵外科高度技能指導医 評議員 技術認定(消化器・一般外科) 評議員	日本外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器病学会 日本胸部外科学会 日本肝胆膵外科学会 日本食道学会 日本胃癌学会 日本内視鏡外科学会 日本臨床外科学会 日本腹部救急医学会
柄井航也	腹腔鏡手術(消化 管、ヘルニア) 肝胆膵外科 甲状腺外科	日本外科学会 日本臨床外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器外科学会 日本内視鏡外科学会 日本内視鏡外科学会 日本肝胆膵外科学会 日本がん治療認定医機構 日本内分泌外科学会 日本医師会 厚生労働省	外科専門医 評議員 消化器外科専門医 指導医 消化器がん外科治療認定医 技術認定(消化器・一般外科) 評議員 評議員 がん治療認定医 検診マンモグラ フィ読影認定医師 内分泌外科専門医 認定健康スポーツ医 麻酔科標榜医	日本外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器病学会 日本内視鏡外科学会 日本大腸肛門病学会 日本肝胆膵外科学会 日本臨床外科学会 日本外科系連合学会 日本腹部救急医学会 日本内分泌外科学会
田尻下敏弘	外科一般	日本救急医学会	救急専門医	日本救急医学会

【心臓血管外科】

医 師 名	専 門 分 野	取 得 資 格		所 属 学 会
熊 田 佳 孝	心臓・大腸脈の手術末梢血行障害の治療 フットケア	日本外科学会 日本外科学会 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会	認定医 外科専門医 心臓血管外科専門医 修練指導者 胸部ステントグラフト実施医 GORE TAG Thoracic Endprosthesis 胸部ステントグラフト指導医 GORE TAG Thoracic Endprosthesis 腹部ステントグラフト実施医 Gore Excluder Endprosthesis 腹部ステントグラフト指導医 Gore Excluder Endprosthesis	日本外科学会 日本心臓血管外科学会 日本脈管学会 日本集中治療学会 日本フットケア学会

河合憲一	成人心血管外科手術 大動脈外科手術	日本外科学会	外科専門医	日本外科学会
		三学会構成心臓血管外科 専門医認定機構	心臓血管外科専門医	日本胸部外科学会
		日本脈管学会	脈管専門医	日本心臓血管外科学会
		日本静脈学会	研修指導医	
		日本ステントグラフト実施 基準管理委員会	胸部ステントグラ フト実施医 GORE TAG Thoracic Endprosthesis	
		日本ステントグラフト実施 基準管理委員会	胸部ステントグラフト 実施医 Zenith TX2TAA Endovascular Graft	
		日本ステントグラフト実施 基準管理委員会	胸部ステントグラ フト実施医 VALIANT Captivia	
		日本ステントグラフト実施 基準管理委員会	胸部ステントグラ フト指導医 GORE TAG Thoracic Endprosthesis	
		日本ステントグラフト実施 基準管理委員会	胸部ステントグラ フト指導医 Zenith TX2/ Alpha	
		日本ステントグラフト実施 基準管理委員会	腹部ステントグラフト 実施医 Gore Excluder Endprosthesis	
		日本ステントグラフト実施 基準管理委員会	腹部ステントグラフト 実施医 ENDURANT ステ ントグラフトシステム	
		日本ステントグラフト実施 基準管理委員会	腹部ステントグラフト 実施医 AFX ステントグ ラフトシステム	
		日本ステントグラフト実施 基準管理委員会	腹部ステントグラフト 指導医 Gore Excluder Endprosthesis	
		日本ステントグラフト実施 基準管理委員会	腹部ステントグラフト 指導医 AFX ステントグ ラフトシステム	
		下肢静脈瘤血管内焼灼術実 施・管理委員会	下肢静脈瘤に対する レーザー焼灼術の実 施基準による実施医	
		血管内レーザー焼灼術実施・ 管理委員会	下肢静脈瘤に対する 血管内焼灼術の実施 基準による指導医	
		日本医師会	認定産業医	

石田成吏洋	成人心臓・大動脈 外科手術 低侵襲心臓手術 (MICS)	日本外科学会 日本外科学会 日本外科学会 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構 日本脈管学会 日本脈管学会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会	認定医 外科専門医 指導医 心臓血管外科専門医 修練指導者 脈管専門医 研修指導医 胸部ステントグラフト指導医 GORE TAG Thoracic Endprosthesis 腹部ステントグラフト実施医 ENDURANT ステントグラフトシステム 腹部ステントグラフト指導医 Gore Excluder Endprosthesis	日本外科学会 日本胸部外科学会 日本心臓血管外科学会 日本血管外科学会 日本循環器学会 日本冠疾患学会 日本脈管学会 日本冠動脈外科学会
水野裕介	成人大血管	日本外科学会 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構 下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会	外科専門医 心臓血管外科専門医 下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施医	日本外科学会 日本胸部外科学会 日本心臓血管外科学会

【整形外科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
福田 雅	整形外科一般 関節外科 肩関節外科 筋骨格系超音波診断	日本整形外科学会 日本整形外科学会 中部日本整形外科災害外科学会	整形外科専門医 スポーツ医 評議員	日本整形外科学会 日本肩関節学会 日本股関節学会 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 中部日本整形外科災害外科学会
日置 暁	脊椎脊髄外科	日本整形外科学会 日本整形外科学会 日本脊椎脊髄病学会 日本脊椎脊髄病学会	整形外科専門医 脊椎脊髄病医 脊椎脊髄外科専門医 指導医	日本整形外科学会 日本脊椎脊髄病学会 日本側彎症学会 日本脊椎インストゥルメンテーション学会 中部日本整形外科災害外科学会
田中 薫	整形外科一般	日本整形外科学会 日本整形外科学会	整形外科専門医 運動器リハビリテーション医	日本整形外科学会 中部日本整形外科災害外科学会

石丸 大地	整形外科一般（関節外科・外傷整形）	日本整形外科学会 日本整形外科学会	整形外科専門医 研修指導者	日本整形外科学会 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会
山口 良大	整形一般（特に救急外傷整形）	日本整形外科学会	整形外科専門医	日本整形外科学会 日本救急医学会 日本骨折治療学会

【脳神経外科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
澤田 元史	脳卒中 脳動脈瘤 脳腫瘍 三叉神経痛、顔面痙攣に対する機能外科 脳血管内治療	日本脳神経外科学会 日本脳卒中学会 日本脳卒中学会 日本脳卒中の外科学会 日本脳神経血管内治療学会 日本脳神経血管内治療学会 日本脳神経血管内治療学会	脳神経外科専門医 脳卒中専門医 脳卒中指導医 技術指導医 専門医 指導医 研修施設認定	日本脳神経外科学会 日本脳卒中学会 日本脳神経血管内治療学会 日本脳卒中の外科学会 日本癌学会 米国癌学会（AACR）
澤田 重信	脳血管障害	日本脳神経外科学会 日本脳神経外科学会 日本脳神経血管内治療学会	脳神経外科専門医 指導医 脳血栓回収療法実施医	日本脳神経外科学会 日本脳神経血管内治療学会 日本脳神経外科コンgres

【呼吸器外科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
春日井敏夫	肺癌 縦隔腫瘍	日本外科学会 日本外科学会 日本胸部外科学会 日本呼吸器学会 日本呼吸器学会 呼吸器外科専門医合同委員会 日本呼吸器内視鏡学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本がん治療認定医機構	外科専門医 指導医 認定医 呼吸器専門医 指導医 呼吸器外科専門医 気管支鏡専門医 気管支鏡指導医 がん治療認定医	日本肺癌学会 日本呼吸器外科学会 日本呼吸器学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本胸部外科学会 日本内視鏡外科学会 日本緩和医療学会 日本臨床外科学会

【形成外科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
北澤 健	形成外科全般 (特に眼瞼手術、マイクロサージャリーを応用した切断肢再接着や皮弁術による再建など)	日本形成外科学会 日本形成外科学会 日本形成外科学会 日本手外科学会 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会	形成外科専門医 再建・マイクロサージャリー分野指導医 皮膚腫瘍外科分野指導医 手外科専門医 乳房再建用エキスパンダー/インプラント責任医師	日本形成外科学会 日本手外科学会 日本マイクロサージャリー学会 国際形成外科学会 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会

【皮膚科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
浅野由祐子	皮膚科一般	日本皮膚科学会	皮膚科専門医	日本皮膚科学会 日本アレルギー学会

【泌尿器科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
濱本幸浩	血液浄化 腹膜透析 前立腺疾患 神経因性膀胱	日本泌尿器科学会 日本透析医学会 日本透析医学会 日本内科学会	泌尿器科専門医 透析専門医 指導医 認定内科医	日本泌尿器科学会 日本透析医学会 日本内科学会 日本腎臓病学会 日本循環器病学会
萩原徳康	感染 内視鏡手術 アンドロロジー 腫瘍	日本泌尿器科学会 日本泌尿器科学会 日本がん治療認定医機構 日本泌尿器内視鏡学会	泌尿器科専門医 泌尿器科指導医 がん治療認定医 泌尿器ロボット支援手術プロクター認定	日本泌尿器科学会 日本アンドロロジー学会 日本泌尿器科内視鏡学会 日本癌治療学会

【人工透析センター】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
長谷川義和	生殖器腫瘍 尿路感染症 腎不全（透析療法）	日本泌尿器科学会 日本泌尿器科学会	泌尿器科専門医 泌尿器科指導医	日本泌尿器科学会 日本透析医学会 日本化学療法学会

【産婦人科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
松波和寿	周産期 不妊症 腫瘍 内分泌 腹腔鏡手術	日本産科婦人科学会 日本産科婦人科学会 社会医学系専門医協会 社会医学系専門医協会 日本クリニカルパス学会 日本クリニカルパス学会 日本医療マネジメント学会 岐阜県医師会	産婦人科専門医 産婦人科指導医 社会医学系専門医 社会医学系指導医 パス指導者 理事 評議員 母体保護法指定医師	日本産科婦人科学会 日本クリニカルパス学会 日本生殖医学会 日本医療マネジメント学会 日本内視鏡学会 日本受精着床学会 日本産婦人科内視鏡学会 日本産婦人科医会
今井篤志	生殖内分泌 女性医学	日本産科婦人科学会 日本産科婦人科学会 日本婦人科腫瘍学会 日本婦人科腫瘍学会 日本生殖医学会 日本内分泌学会 日本内分泌学会 岐阜県医師会	産婦人科専門医 産婦人科指導医 婦人科腫瘍専門医 婦人科腫瘍指導医 生殖医療専門医 内分泌代謝科（産婦人科）専門医 内分泌代謝科指導医 母体保護法指定医師	日本産科婦人科学会 日本婦人科腫瘍学会 日本内分泌学会 日本生殖医学会 米国内分泌学会 米国実験医学生物学会 米国生殖医学会
川 鱈 市 郎	周産期 画像診断 胎児診断治療	日本産科婦人科学会 岐阜県医師会	産婦人科専門医 母体保護法指定医師	日本産科婦人科学会 日本周産期新生児学会
高 木 博	産婦人科全般 腹腔鏡 膣式手術	日本産科婦人科学会 岐阜県医師会	産婦人科専門医 母体保護法指定医師	日本産科婦人科学会 日本女性骨盤底医学会 日本骨盤臓器脱手術学会 日本産婦人科手術学会
市 古 哲	産婦人科全般	日本産科婦人科学会 日本産科婦人科学会 岐阜県医師会 日本母体救命システム普及協議会	産婦人科専門医 産婦人科指導医 母体保護法指定医師 J-MELS ベーシックインストラクター	日本産科婦人科学会

【眼科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
松波智恵子	眼科一般	日本眼科学会	眼科専門医	日本糖尿病眼学会 日本眼科学会
末 森 晋 典	網膜硝子体手術 抗 VEGF 薬治療 眼形成手術 白内障手術	日本眼科学会	眼科専門医	日本眼科学会 日本網膜硝子体学会 日本眼科手術学会

【耳鼻咽喉科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
永井 裕之	耳鼻咽喉科全般	日本耳鼻咽喉科学会 日本耳鼻咽喉科学会	耳鼻咽喉科専門医 補聴器相談医	日本耳鼻咽喉科学会
飯田 達夫	耳鼻咽喉科全般 耳画像学	日本耳鼻咽喉科学会	耳鼻咽喉科専門医	日本耳鼻咽喉科学会 日本小児耳鼻咽喉科学会 耳鼻咽喉臨床学会 日本めまい平衡医学会

【麻酔科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
江崎 善保	麻酔全般 慢性疼痛のコントロール	日本麻酔科学会 厚生労働省	麻酔科専門医・指導医 麻酔科標榜医	日本麻酔科学会 日本ペインクリニック学会 日本集中治療医学会
橋本 慎介	周術期の全身管理 成人の心臓麻酔	日本麻酔科学会 厚生労働省	麻酔科専門医・指導医 麻酔科標榜医	日本麻酔科学会 日本臨床麻酔学会 日本集中治療医学会
田中 亜季	麻酔全般	日本麻酔科学会 日本集中治療医学会 厚生労働省	麻酔科専門医・指導医 集中治療専門医 麻酔科標榜医	日本麻酔科学会 日本集中治療医学会 日本緩和医療学会
小島 明子	麻酔全般	日本麻酔科学会 日本集中治療医学会 厚生労働省	麻酔科専門医・指導医 集中治療専門医 麻酔科標榜医	日本麻酔科学会
三上 大介	周術期の全身管理 成人の心臓麻酔	日本麻酔科学会 厚生労働省 日本医師会	麻酔科専門医・指導医 麻酔科標榜医 認定産業医	日本麻酔科学会

【リハビリテーション科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
松波紀行	ペインクリニック 麻酔管理 リハビリ全般 肥満診療 スポーツ医学全般	日本スポーツ協会 日本ペインクリニック学会 日本麻酔科学会 厚生労働省 日本慢性疼痛学会 細胞治療認定管理師制度協議会 日本自己血輸血学会、 日本輸血・細胞治療学会 日本医療メディエーター協会 日本医師会 日本医師会	公認スポーツドクター ペインクリニック専門医 麻酔科専門医・指導医 麻酔科標榜医 慢性疼痛専門医 細胞治療認定管理師 学会認定・自己血輸血責任医師 認定医療メディエーターB 認定健康スポーツ医 認定産業医	日本ペインクリニック学会 日本麻酔科学会 日本リハビリテーション医学会 日本肥満学会 日本輸血細胞治療学会

【メンタルケア科（精神科）】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
小島久典	精神科一般	日本精神神経学会 日本精神神経学会 厚生労働省 日本医師会	精神科専門医 精神科専門医制度指導医 精神保健指定医 認定産業医	日本精神神経学会

【救急総合診療科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
八十川雄図	心肺蘇生 脳卒中 機能神経外科疾患 神経画像	日本救急医学会 日本救急医学会 日本集団災害医学会 厚生労働省 全日本病院協会 Japan Clinical Simulation Organization American Heart Association American Heart Association NBCR 対策推進機構 日本母体救命システム普及協議会 日本脳神経外科学会 ICD 制度協議会 岐阜県危機管理部消防課	救急科専門医 ICLS・BLS コースディレクター MCLS 世話人 統括 DMAT AMAT 隊員 ISLS 認定ディレクター ACLS インストラクター BLS インストラクター CBRNE テロ対策責任者1級 J-MELS ベーシックコース・インストラクター 脳神経外科専門医 認定 ICD 岐阜地域メディカルコントロール協議会委員	日本救急医学会 日本脳神経外科学会 日本神経外傷学会 日本定位・機能神経外科学会 日本意識障害学会 日本脳神経外科コンgres
白井知佐子	救急	日本救急医学会	救急科専門医	

【歯科口腔外科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
池田 歩	一般歯科 口腔外科			日本口腔外科学会 岐阜歯科学会

【病理診断科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
鬼頭 勇 輔	人体病理	日本病理学会 日本病理学会 日本病理学会 日本臨床細胞学会 日本臨床細胞学会 厚生労働省	病理専門医 病理専門医研修指導医 学術評議員 細胞診専門医 教育研修指導医 死体解剖資格	日本病理学会 日本臨床細胞学会
池田 庸 子	外科病理 人体病理	日本病理学会 日本病理学会 日本病理学会 日本臨床細胞学会 日本臨床細胞学会	認定病理医 病理専門医 病理専門医研修指導医 細胞診専門医 教育研修指導医	日本病理学会 日本臨床細胞学会 日本臨床検査医学会 日本神経病理学会 日本癌学会 日本消化器内視鏡学会 日本乳癌学会 日本消化器病学会 日本内分泌学会 日本肺癌学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本脳腫瘍病理学会 日本外科病理学会
川島 啓 佑	人体病理	日本病理学会 日本病理学会 日本臨床細胞学会	病理専門医 分子病理専門医 細胞診専門医	日本病理学会 日本臨床細胞学会

【放射線科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
伊原 昇	がんに対する動注 化学療法画像ガイ ド下のドレナージ・ ステント治療など の低侵襲治療	日本医学放射線学会 日本医学放射線学会 日本医学放射線学会 日本インターベンショナルラジオロジー学会 日本核医学会	放射線科専門医 放射線診断専門医 研修指導者 IVR 専門医 PET 核医学認定医	日本医学放射線学会 日本核医学会 日本インターベンショナルラジオロジー学会 日本オートプシーイメージング学会
福田 千 春	画像診断全般	日本医学放射線学会 日本医学放射線学会 日本医学放射線学会 日本乳がん検診精度管理中央機構	放射線科専門医 放射線診断専門医 研修指導者 検診マンモグラフィ・ 読影認定医師	日本医学放射線学会
高杉美絵子	画像診断全般	日本医学放射線学会 日本乳がん検診精度管理中央機構	放射線診断専門医 検診マンモグラフィ・ 読影認定医師	日本医学放射線学会
竹田 太 郎	画像診断全般	日本医学放射線学会 日本医学放射線学会	放射線科専門医 放射線診断専門医	日本医学放射線学会 日本インターベンショナルラジオロジー学会

【回復期リハビリテーション病棟】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
平山 宏 史	脳血管障害の リハビリテーション (脳卒中)	日本リハビリテーション医学会 日本脳神経外科学会 日本スポーツ協会 日本医師会	認定臨床医 脳神経外科専門医 公認スポーツドクター 認定産業医	日本脳神経外科学会 日本リハビリテーション医学会 日本脳神経外科コンgres

【中央検査センター】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
河合 寿 一	人間ドック 健診業務	日本人間ドック学会 日本救急医学会 日本外科学会 日本医師会	人間ドック認定医 救急科専門医 認定医 認定産業医	日本人間ドック学会 日本救急医学会 日本外科学会

【まつなみ健康増進クリニック】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
花立史香	消化器外科 乳腺外科 腹腔鏡下手術（特に胃癌手術）	日本外科学会 日本外科学会 日本外科学会 日本がん治療認定医機構 日本乳癌学会	認定医 外科専門医 指導医 がん治療認定医 乳腺専門医	日本外科学会 日本臨床腫瘍学会 日本乳癌学会 センチネルリンパ節研究会

【人間ドック・健診センター】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
林 慎	内分泌代謝学 （糖尿病・高脂血症）	日本内科学会 日本内科学会 日本糖尿病学会 日本糖尿病学会 日本糖尿病学会 日本病態栄養学会 日本病態栄養学会 日本病態栄養学会 日本病態栄養学会 日本人間ドック学会 日本人間ドック学会 日本人間ドック学会 日本人間ドック学会 日本人間ドック学会 日本肥満学会 日本医師会	認定内科医 研修指導医 専門医 研修指導医 評議員 病態栄養専門医 研修指導医 NST コーディネーター 評議員 人間ドック認定医 専門医 健診指導医 評議員 人間ドック健診情報管理指導士 肥満症特例指導医 認定産業医	日本内科学会 日本糖尿病学会 日本病態栄養学会 日本人間ドック学会 日本総合健診医学会 日本肥満学会 日本内分泌学会 日本静脈経腸栄養学会

【介護老人保健施設】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
岩井知彦	脳卒中	日本脳神経外科学会 日本脳卒中学会 日本医師会	脳神経外科専門医 脳卒中専門医 認定産業医	日本脳神経外科学会 日本脳卒中学会

2020 年度機器投資実績（主たるもの）

【機器一覧】

機器備品名：リアルタイム濁度測定装置 Loopamp EXIA と遠心機（補助金） 製造業者名：栄研化学株式会社 購入業者：株式会社スズケン
機器備品名：陰圧キャリングベッド購入 製造業者名：株式会社日本医化器械製作所 購入業者：株式会社八神製作所
機器備品名：オゾンガス消毒器一式の BT-088M 製造業者名：株式会社タムラテコ 購入業者：株式会社バイタル
機器備品名：高周波手術装置 VIO3 4 ソケット購入（リース） 製造業者名：株式会社アムコ 購入業者：株式会社三輪器械
機器備品名：心臓リハビリ P C X 検査システム（リース） 製造業者名：日本光電工業株式会社 購入業者：CTM 株式会社
機器備品名：呼吸器内科の内視鏡システム更新 製造業者名：オリンパス株式会社 購入業者：株式会社三輪器械
機器備品名：モルセレーターセット 製造業者名：カール・ストルツ 購入業者：株式会社三輪器械
機器備品名：X線循環器診断システム（シネアンギオ装置）更新（リース） 製造業者名：キヤノンメディカルシステムズ株式会社 購入業者：キヤノンメディカルシステムズ
機器備品名：血液培養自動分析装置の更新（リース） 製造業者名：日本ベクトン・ディッキンソン株式会社 購入業者：株式会社スズケン
機器備品名：インファントウォーマ更新 製造業者名：アトムメディカル株式会社 購入業者：井上精機株式会社
機器備品名：配薬カート購入6台・1台 製造業者名：アズワン株式会社 購入業者：CTM 株式会社
機器備品名：消化器内科内視鏡システム更新 製造業者名：オリンパス株式会社・富士フイルム株式会社 購入業者：株式会社三輪器械・ホープ産業株式会社

機器備品名：DMAT ユニフォーム更新・災害用無線機購入 製造業者名：株式会社ワコー商事・アイコム株式会社 購入業者：株式会社八神製作所・株式会社ユニプロ・ホリ電化
機器備品名：コロナ高度な医療を提供する医療機関に関わる補助金 製造業者名：オリンパス株式会社・GE ヘルスケア・ジャパン株式会社日立製作所・東レ株式会社・日本光電工業株式会社 購入業者：株式会社八神製作所・大誠医科器械株式会社・CTM 株式会社・株式会社三輪器械
機器備品名：医療・介護保険コロナ交付金でオゾン発生器・モンベル・ファン購入 製造業者名：アースウォーカーレーディング株式会社・株式会社モンベル・株式会社フォラケア・ジャパン 購入業者：アースウォーカーレーディング株式会社・アマゾン・株式会社モンベル
機器備品名：神経モニタリングシステム NIM Vitalコンソール 製造業者名：日本メドトロニック株式会社 購入業者：株式会社八神製作所
機器備品名：オリンパス顕微鏡購入 製造業者名：オリンパス株式会社 購入業者：株式会社三輪器械
機器備品名：オリンパス気管支ビデオスコープ更新 BF-UC260FW 製造業者名：オリンパス株式会社 購入業者：株式会社三輪器械
機器備品名：電気メス（泉工医科 ZERUK-W）の購入 製造業者名：泉工医科工業株式会社 購入業者：CTM 株式会社
機器備品名：病院用トラック購入 製造業者名：トヨタ自動車株式会社 購入業者：岐阜トヨタ U-CAR 北方店
機器備品名：全自動便尿分析装置・赤外分光分析装置購入 製造業者名：アルフレッサファーマ株式会社・フクダ電子株式会社 購入業者：アルフレッサ・シスメックス
機器備品名：RI 自動分注装置更新 製造業者名：エヌ・エム・ピービジネスサポート株式会社 購入業者：エヌ・エム・ピービジネスサポート株式会社
機器備品名：オゾン発生器購入 4 台 製造業者名：松吉医科器械株式会社 購入業者：CTM 株式会社
機器備品名：コロナ院内感染防止対策補助金 集団隔離ユニット他 製造業者名：株式会社モレーンコーポレーション、ラジオメーター株式会社他 購入業者：株式会社八神製作所・CTM 株式会社・株式会社小見山家具製作所・井上精機株式会社・株式会社清芳屋・日本電気株式会社・富士ゼロックス株式会社・フクダ電子株式会社

機器備品名：低床電動ベッド 100 台購入 製造業者名：パラマウントベッド株式会社 購 入 業 者：株式会社トーカイ
機器備品名：超音波画像診断装置の更新（人間ドック）ARIETTA 製造業者名：株式会社日立製作所 購 入 業 者：フクダ電子株式会社
機器備品名：眼科用手術台購入 メプロ 4J ES7 製造業者名：タカラベルモント株式会社 購 入 業 者：株式会社八神製作所
機器備品名：リアルタイム濁度測定装置 Loopamp EXIA 増設について（補助金予定） 製造業者名：栄研化学株式会社 購 入 業 者：株式会社スズケン
機器備品名：超音波診断装置 Venue R2.5 更新 製造業者名：GE ヘルスケア・ジャパン株式会社 購 入 業 者：株式会社八神製作所
機器備品名：アキュラン 4 デルマトーム更新 製造業者名：ビー・ブラウンエースクラブ株式会社 購 入 業 者：有限会社ケイ・アイ・エス
機器備品名：コロナ対策設備整備事業人工呼吸器 3 台、体外式膜型人工肺 1 台 製造業者名：テルモ株式会社・日本光電工業株式会社他 購 入 業 者：CTM 株式会社・株式会社フェニックス・フクダ電子株式会社
機器備品名：心電図検査装置購入 FCP-8400 製造業者名：フクダ電子株式会社 購 入 業 者：フクダ電子株式会社
機器備品名：ベンタナコネクト更新（アップグレード） 製造業者名：ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社 購 入 業 者：株式会社カーク
機器備品名：コロナ補助金で医療機器購入 紫外線照射器他 製造業者名：株式会社モレーンコーポレーション・ミドリ安全株式会社・アイ・エム・アイ株式会社他 購 入 業 者：株式会社八神製作所・株式会社レオクラン・CTM 株式会社・ミドリ安全株式会社
機器備品名：Ami Voice の保守契約 5 年 製造業者名：株式会社アドバンスト・メディア 購 入 業 者：株式会社中部メディカル
機器備品名：ライカ手術用顕微鏡購入 製造業者名：ライカマイクロシステムズ株式会社 購 入 業 者：KIS

松波総合病院
(SOUTH WING:南館) 介護老人保健施設

松波総合病院(NORTH WING:北館)



まつなみ健康増進クリニック

まつなみリサーチパーク

立体駐車場

ふるさと納税に
人間ドック追加

笠松町が返礼品

笠松町はふるさと納税の返礼品として、同町の松波総合病院の新婚カップル・夫婦向け健診「プレコンセプションケア」と人間ドックを本年度から追加する。同町によると、同ケアを返礼品に充てるのは全国で初めて。

プレコンセプションケア
(寄付金額・男性未定、女性
13万9千円)は性病のほか



B型肝炎や風疹、卵巣などを検査する。寄付者と受診者は違ってもよい。このほか一般向けに、男女別のがんや生活習慣病、脳の人間ドック4種類を用意した。

町役場で同病院の松波英寿理事長に、かさまつ応援寄付金の「パートナー事業参加決定通知書」が古田聖人町長から手渡された。

町の担当者は「健康なまちづくり、新たな寄付者層の獲得につながることを期待している」と話した。2019年度の寄付金額は2283万2155円だった。

（長尾剛次）

松波英寿理事長（左）に通知書を手渡す古田聖人町長＝笠松町役場

岐阜新聞 2020.4.9

ホームドクター
教えて

[illegible]

正しい自宅待機



上野勝己氏

[illegible]

適度に運動、筋力キープ

規則正しい生活で心穏やかに

[illegible]

岐阜新聞 2020.4.22

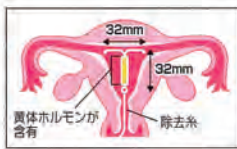
「ピル(低用量経口避妊薬)」は本来、避妊目的で用いられていますが、避妊月経や月経痛等に対して非常に有効な治療法となっており、一方で、約10年前から日本でも使われるようになった子宮内黄体ホルモン放出システム(IUS)は、一度子宮内に装着すると5年間効果が持続する(1)に加えて、ピルの服用が制限されている女性にも使用できるという特長があります。

IUSはT型フィルムを放出するフィルムを子宮の頸の部分に黄体ホルモンを放出するフィルムを装着付けたものです(図)。頸の上端が本の厚さのアームとなり、用具が脱出しにくいようになっています。頸の下端には除去糸が取り付けられています。

IUSはピルと同等の避妊効果があります。避妊できるメカニズムは、子宮内



子宮内黄体ホルモン放出システム



腔の形が変わり受精卵が子宮内腔に着床するのを妨げる(2)黄体ホルモンが子宮内膜の増殖を抑えるため、内膜は薄くなり受精卵の着床が妨げられる(3)子宮入り口の粘液の水分量を減少させて精子の侵入を抑える、と考えられています。



産婦人科医

今井篤志氏

ピルと同等の避妊効果

黄体ホルモンは子宮内腔を薄くするので、月経量を減少させ月経痛を和らげます。子宮内腔症や子宮筋腫に伴う月経痛のみならず月経時以外の痛みや下腹部不快感にも有効です。特に原因が不明な月経量が多い女性にもお勧めで、使用者の2〜3割は月経も含め出血がなくなります。

IUSから放出される黄体ホルモンは局所に作用し、血中に吸収される量はわずかで、ピルと異なり黄体ホルモンが全身に影響を及ぼすことは少なく、ピル服用に注意が必要な40歳以上、喫煙者、肥満や血栓症既往のある女性でも装着可能です。黄体ホルモンが子宮内腔の増殖を抑えるので、子宮がん・子宮内腔増殖症に対する予防効果も認められています。

IUSは月経中には装着できません。月経終了後の早い時期に装着します。避妊目的の場合、人工妊娠中絶時に装着することも可能です。一度装着すると5年間有効性が持続します。副作用としては、装着後3カ月くらいは不正出血や違和感がありますが、徐々に治まります。

月経量減らし痛みも和らげる

岐阜新聞 2020.5.13

ドライブスルー検査に新手法 窓に専用シート貼り 飛沫遮る



車の窓をシートで覆って、検体を採取する検査方法のデモンストラーション。松波総合病院で。

笠松の松波総合病院(笠松町)「スルー検査で医療従事者の松波英寿理事長が、新型コロナウイルスのドライブスルー検査に考案した。訪れた車の窓に

透明の専用シートを貼り、検査を受ける人のせきやくしゃみの飛沫を遮る。実用化され、県内の検査現場で導入が始まったという。通常のドライブスルー検査は、車の窓を開けたまま検査を受ける人の鼻に綿棒を入れ、検体を採取する。感染者がせきやくしゃみをする、検査する人の体や防護服にウイルスを含む飛沫が付着する恐れがある。専用シートは縦横一辺ほどで、車の窓を覆う。一部が袋状に張り出す構造となっており、担当者はここから腕を車内に差し込んで検体を採取する。使い捨てで、担当者は頻繁に防護服を着替える必要がなくなり、検査の効率化と物資の節約につながる。

松波理事長は一九八九年にオーストラリアで世界で初めて生体肝移植を成功させた移植医療の第一人者。防疫資材が不足する中、感染リスクにさらされながら検査に当たる医療従事者に接し「何とかせねば」と考案したという。今後は他県の医療関係者にもノウハウを提供していく考え。「医療従事者のリスクをいかに減らすかは非常に大きなテーマ。全国で導入してもらえれば」と話している。(杉浦正志)

中日新聞 2020.5.30

全国初、笠松町のふるさと納税



古田聖人町長右から「かさまつ応援寄付金参加決定通知書」を受け取る松波理事長＝笠松町役場で

結婚前に性感染症や不妊のリスクなどを調べる「ブライダルチェック」。笠松町は本年度から、同町田代の松波総合病院で実施しているブライダルチェックの健診コースを、ふるさと納税の返礼品として新たに追加した。町によると、返礼品への実現は全国で初めてという。

同院は二〇一五年に「ブラ」という。受診料は女性が四万円、イタルチェック外来」を始め、一千五百円からで、男性が二万円。一つの病院で男女とも受診できるのは県内でも珍しい。納税の返礼品としては、女性

結婚前の健診コース返礼品へ

向けが十三万九千円の寄付、男性向けは八万二千円の寄付で受診できる。

同院の健診コースは血液検査や超音波検査を行い、女性は子宮や卵巣の状態、男性は精子の動きなどを知ることができる。所要時間は約三十分。同院によると、不妊の原因は男女どちらの可能性もあるため二人とも受診することが望ましく、早期に知り治療する。松波英寿理事長は「早めにリスクを見つけて治療することで、安全に出生してもらいたい」と話している。

松波総合病院で「ブライダルチェック」

町の担当者は「高額なので現状は高所得者の方の寄付を想定しているが、今後は寄付金額を下げて割引券を返礼品にするなど、誰でも利用しやすい仕組みを考えていきたい」と話した。

同町はこのほか、四月からのふるさと納税返礼品として、同院で人間ドックの受診コース四種類（寄付金額は十五万八千～二十三万三千円）を追加した。

中日新聞 2020.6.17

受診控え、経営に打撃

国の病院再編議論に波及

検証 新型コロナ

⑨ 地域医療

新型コロナウイルスの感染拡大は、地域医療を支える病院や診療所の運営にも打撃を与えた。感染を恐れて定期的な受診が必要となる患者が通院を控えたのが一因になった。医療体制維持に向け、医療機関からは、膨らむ医療費を抑えるために国が促した全国の病院の再編・統合議論の進展を望む声が上がっている。

松波総合病院（羽島郡笠松町）の松波英寿理事長。県内の医師らでつくる県保険医療協会が5月に実施した調査では、病院や診療所など423施設のうち4月の診療件数が前年同月と比べて「減った」と答えた施設が9割を超えた。永田正和副会長は「フットホー



透明の遮蔽板で覆ったカウンターで患者に対応するゴーグル姿の職員＝25日、羽島郡笠松町、松波総合病院

「私たちが急病期医療を担う病院ほど損失が大きかった。患者が受診を控れば、がんや心筋梗塞といった疾患の兆候を見つかることも減る」と話

ムを過度に意識するあまり、持病など定期的な診察が必要な人まで医師にかかってくることを敬遠したと振り返る。

同病院では今も患者が訪れる窓口を透明の遮蔽板で覆い、職員は顔にゴーグルを装着するほか、病棟の入り口に体温を計るサーモグラフィを置くなど対策を徹底する。病院を安心して利用してもらうようにするためだ。緊急事態宣言が全国で解除されて1ヶ月以上になるが、入院患者に対する家族の面会はオンライン形式に限っている。

一方で、感染への不安は根強い。「今も患者が戻りきっていない」と話す多治見市の診療所の男性院長は「規模の大きな病院と異なり、発熱などの症状が出ている患者を診察するための場所を別に用意するといった対策が取れない診療所は多い」と病状を訴える。車の中での診察を始めたケースもあったという。

新型コロナウイルスによる深刻な事態は、全国の病院を対象とした再編・統合議論のきっかけに起きた。昨年9月には厚生労働省が対象となる公立・公的病院として県内9病院を含む全国424の病院を公表し、地元自治体の反応を招いたが、この一環で再編議論が24ある。今後は大規模感染症を見越して、議論の再考を迫られる可能性がある。

土台となる地域医療構想で、県は2025年の必要病床数を計1万4978床（18年7月時点1万7662床）と設定。急性期病床を減らす一方で回復期病床を増やすといった、機能区分の転換を狙っている。松波理事長は「陽性者隔離のための措置入院ができるだけの余裕を持たせたい」と話した。病院ごとの役割分担を明確にする議論を加速させなければいけない」と指摘する。県保険医療協会の竹田智雄会長は「地域の需要に合った医療体制を見直す好機にすべきだ」と訴える。

岐阜新聞 2020.6.28

就寝中や朝方に発作

かなくなり、冠動脈が閉鎖
 縮を起して閉塞するこ
 うです。この閉塞は年輪
 に関係なく起り、私の経
 験した最も若い患者は16歳
 の大学生でした。この方
 の冠動脈は強烈に、左主
 幹という最も太い部分が99%
 閉塞を起すほどです。
 冠動脈の原因は完全には
 明らかにはされていません
 が、冠動脈の何々の動脈
 硬化の変化によって、血
 管壁が物質である「酸化脂
 質」が不足するのだといわ
 れています。ストレスの関
 与が指摘されています。

[illegible]

岐阜新聞 2020.7.15

ゾウ650日、キリンは460日

に幼獣期間で、60日前後で、1頭出産します。自然界では、生後1年以内の死亡率は、60~70%といわれています。他の肉食獣に捕食されることが多いためです。

[illegible][illegible]

外科部門で県内初「ベストドクターズ」に選出

きむら まさき
木村 真樹さん(47)＝岐阜市

松波総合病院の消化器外科部長として、肝臓がんや膵臓がんなど幅広く手術を手がけ、ロボット支援手術もこなす。このほど、医師同士が相互評価する「ベストドクターズ」に選ばれた。外科部門での選出は県内初。「同じ医師から評価されたのは、うれしいですね」



最先端治療 仲間と高める

岐阜市出身で、高校時代に人体や生命への興味から医師を志した。転機は2008年。外科医として多忙を極める中、「岐阜県でも最先端の治療を實踐したい」と、高いレベルの医師が全国から集まる研究会に参加するようになった。

自分の手術のビデオを2時間上映し、それをほかの医師が批評する。「厳しいが、批判して終わりではなく、続けて指導してもらった。外科は技術で語って、つながり合える」。人脈は全国に広がった。

日本外科学会や日本消化器外科学会、日本内視鏡外科学会など幅広い学会に所属する一方、後進の育成にも情熱を燃やす。細かいノウハウを一方的に教えるだけでなく、知らないことを教え合い、高め合う関係が理想だ。

風通しの良い組織で、密なコミュニケーションを心がける。「どんな手術も一人ではできない。志の高い仲間を増やして、常に最高の治療をする環境を整えたい」

(山野拓郎)

朝日新聞 2020.8.21

PCR「適切、迅速に」

松波総合病院理事長 県議会で参考意見

県議会の厚生環境委員会は31日、委員協議会を県庁で開いた。新型コロナウイルス感染症のPCR検査について、羽島郡医師会会長を務める松波総合病院



PCR検査について「適切な人に速やかに行う必要がある」と訴える松波英寿理事長＝県庁

(羽島郡笠松町)の松波英寿理事長が参考人として出席し、「適切な人に速やかに行うことが必要」と訴えた。

検査が関心の高いテーマ

であることから、委員の要望で参考人として招致した。松波理事長はPCR検査と抗原検査の違いなどを説明し、「検査には限界があり、多くの検査には偽陽性や偽陰性が存在するので、結果が必ずしも正しい訳でもない。なぜ偽陽性などが起こるのかを理解することが大切」と指摘。その上で「全ての国民や県民に検査を行っても意味がない。適切な人に速やかに検査を行える体制が必要で、有病者が陽性となる確率をより上げることができるとし、早期の収束に向けて「PCR検査などに基づいて、陽性者の入院や施設への収容が重要。国や県、保健所は適切な判断で対応している」と分析した。

(湯浅裕作)

岐阜新聞 2020.9.1

松波総合病院理事長「適切な人に検査を」

県議会厚生環境委員で講演

県議会厚生環境委員会が八月三十一日、県議会棟で開かれ、松波総合病院(笠松町)の松波英寿理事長が新型コロナウイルスのPCR検査をテーマに講演した。

松波理事長は、医師会が運営する「地域外来・検査センター」の検査状況を説明。羽島郡医師会などがド



県議会厚生環境委員会で講演する松波理事長＝県議会棟で

ライブスルーで行っている独自の検査方式を紹介した。

多くの検査には偽陽性や偽陰性が起こりうると説明したほか、対象者を際限なく検査するのではなく「適切な人に速やかに検査を行うことが必要」と指摘した。

(浜崎陽介)

中日新聞 2020.9.4

「岐阜カーテン」 コロナ通さず ビニール覆い飛沫防止

新型コロナウイルスに感染の疑いがある患者を車に乗せたまま検査場を採取するドライブスルー方式の検査で、県内の病院がすでに特設されたドライブカーテンを組み合わせた方法が、全国の医療関係者の注目を集めている。考案したのは、松波緑台病院（羽島郡笠置町）の松波英寿理事長。「岐阜カーテン」と名付けたドライブスルーで患者が車の飛来・飛去のリスクを抑え、医師がより安全に、効率よく検査を採取できる」と好評だ。（山田大志）



「岐阜カーテン」を使って換体採取を実演する医師。
作業を効率化できると注目が集まる＝17日午前10時
55分、羽島郡笠松町田代、松波総合病院

全国から150件注文

各々の検査システムでは、またまた標準化を要して、さまざまな機器とつなげてPCR検査に必要な体の採取を実施。ドライブスルー方式の検体採取の多くは、電方式PCRのうちの非防護型に医師が行っているが、患者1人の採取が終わるのびにボックスの外面の消毒が必要で、消毒するに感染リスクが生じるほか、時間と手間がかかる。

一方、般男子「レ」を使ふ方法は、車の窓を二重にしてカテナで覆うことで患者を隔離。医師は手袋を付けており、医師はまた手袋を付けて患者の鼻から検体採取する。さらに患者は鼻部が露出たまま二重マスクを付け、くしゃみやせきをしない飛沫が広がるのを予防して作業している。患者は必ずしもマスクを付けていない。

またまた電子決済なので、乗ったまま電子決済だけで

同病棟は、新島東一、三に於ける2液法を基本型とし、5に於ける単力一テを使用した方法が公認されている。この方法による検査の全量と、各医師の自費検査の全量とを比較すると、前者は後者の約半分に減る。この減額を以て、同病棟を以てモデル病棟として他の医師会、病院等から5に於ける費用は、数分甘やかされている。異例では、数分甘やかされているが、一般力一テを導入して、セリタが一般力一テを導入した。冬に同じ、医療機関では新島三に力一テ、インテルエザの型力一テを標準として、能力が認められる。設備管理長は「一般力一テは、安価で使え、検出できる。通常の診療にも利用できる。安全な装置にも用いられる」と述べている。

松波病院、ドライブスルー検査で考案

今夏に都市部を中心に押し寄せた新型コロナウイルス感染症拡大の第2波。県内でも7月以降、高校や大学の部活動などでクラスター（感染者集団）が発生、県独自の非常事態宣言が再び発令される事態となった。新規感染者数が落ち着き宣言は解除されたが、冬のイ

始動 菅政権
ぎふからの
提言

③ 松波総合病院
松波英寿理事長

限りある医療資源、支援が急務



「医療や保健師のバックアップ体制を整えなければ、医療の現場で疲弊するばかりだ」と語る松波英典理事長（羽島郡志保町田代、松波綜合病院）。

国者・接触者相談センター」に相談し、症状に応じて帰国者・接触者外来などにつなぐ流れだが、多くの発熱患者に対応するため、10月からは直接かかりつけ医など地域の医療機関に相談、受診する体制に転換する。

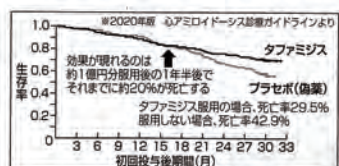
ンザか。病院は、どうも
からならん状態、患者を
検査をしなければならん
局面に訪れる。野原倉に
して、患者の診察所に
で診察機関として、加わ
てほしい」と、加わった
松原理事長は、クリニック
なほ一人の医や看護師
の協力で閉鎖せざるを得な
い状況に陥る。原因は、こ
うな多岐にわたる。話
す。すでに、感染拡大の余
波外へ来患者や救急搬送の
数減少。「コロナ患者を受
け、予定の病院は病床の確
保、予定入院患者と手術の
延期などが経営を苦しめて
いる。」（つとめ4月5日は
悲観だった。公立病院は）
でなく、われわれ民間にも
手厚い支援をお願いした
い」と語る。

2018年度から6年間
の第7期臨床開発設計画
は「新薬・医療器械の発
生に傾ける」とある。「果
たしてこれまでに十分な体
制を構築した」と言える
だろうか。疑問を投げ掛
ける。感染症指定医療機
は県内5箇所で30床、
療機能の分散と集中が必須
として、具体的に精神科は
整理と役割分担、医師の
き方改革、医師の確保に
力を挙げる。「今はみんな
で苦しんでいる。今後は
で済みをめざらねばなら
ない状態でのままでは、我
れに力になれない。国、県
そして私に自身も真向
から取り組まなければならない時期に達している」と、憂
鬱を鳴らす。（山田雄大

岐阜新聞 2020.9.18

岐阜新聞 2020.9.20

患者急増、冬場に多い入院

[illegible]

是は「シラカバ」が關聯した
 物語だ。たゞし關聯は一部
 學問に際限あり、決して「
 隅隅に見えぬ事」はなは
 だである。圖、とはいへ
 の案を掛かりしに心筋症に
 治療法の變がここに進む
 と期待される。

治療法はちゃんと進歩し
 ますが、重要は安全です。
 助かることが重要です。若
 しにそのおぼてようもい
 りませうが、高血圧や糖尿病
 の生じ留まる病を、
 一個人一人の努力で健康を
 守ることが出来ます。これ
 らをさがしてください。生
 活習慣の改善を求めた目
 的があります。患者も刺
 さなければ、短時間の指
 に提げておこなひます。こ
 れは、これまた必要指摘
 されたことだからです。過
 激な運動、減量、努力、
 飲酒、喫煙による血圧上
 昇を避けるべきことが
 大切です。（松崎総合病院
 心臓病センター長 長 羽
 松町町長）

岐阜新聞 2020.10.7

美濃飛驒スペシャル

医師用防護シート「岐阜カーテン」開発

感染リスク軽減へ知恵

新型コロナウイルスの感染疑いのある人が車に乗ったままドライブスルー方式でPCR検査が受けられる施設への感染リスクを軽減する「1人1車の防壁」方式「トビ車カテナ」。新型コロナウイルスの流行が長期化しているところもあり、病院などからの引き合いが後を絶たない。開発した松波総合病院（宮崎県）の松波英寿理事長（邑）に聞いた。

（坂田剛介）

松波総合病院理事長に聞く

校「エフを開設した」
たきかけは、
「当院は単に設備が戸
C R検査や検体取まで
感した海外で多くの医師が
驚き、海外にまで云々
ニューになっていて、未知
すところでもそれだけ
て聞いた時、泣い
とは言えないで、検査ま
する間を考えた。」
「そして甲斐ない」と



④「絞車カーテン」を使った車内での新型コロナウイルスの検査
 ⑤医師が腕を入れる手袋部分⑥と検体を取り出す小さな穴⑦がある
 ⑧車の窓にカーテンを貼り、患者は車内でビニールの袋をかぶる。
 医師が風上になるように送風する＝いずれも松波総合病院提供



全国から注文 生産追い付かず

[illegible]

「岐阜カーテン」を
考案した松波理事長

まつなみ・ひでとし
松町生まれ。代々医者の家系で、東京医科大学卒業後、岐阜大やオーストラリアで外科医として勤務。1989年、臺で世界初の生体部分肝移植手術を主治医として成功させた。2000年1年から松岐総合病院の理事長。同院の理事長兼当直医師の恩師の肖像像を掲げ、「いつも昔の先生の視線を感じている」。

岐阜新聞 2020.10.19

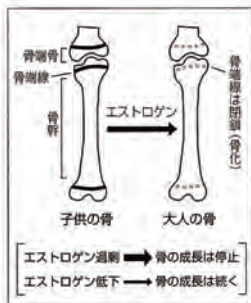
女性ホルモン、特にエストロゲンは生殖機能以外にも骨格神経、脳機能、心血管系、コレステロール、中性脂肪の調節、乳房皮膚など、に作用し、生体を通して女性の健康に關与します。更年期症状はこのエストロゲンが減少して生ずる体の不調です。2011年10月8日付の面掲載。今回は成長期のエストロゲンに的を絞って考えてみます。

男女を問わず生れて1~2ヶ月程度は、体内のエストロゲンの量が女性の思春期と同様に高値を示します。母親の影響を受けた胎児期の状態です。その後、徐々に低下して生後6ヶ月以降、思春期までは、測定感度の下の低値を示します。そして女子は思春期になるにエストロゲン量が上昇し始め、体が急激に大人

教えて
ホーンドクター

エストロゲン

エストロゲン



骨の成長止める作用

望」を聞く若年女性が多くいます。極端に体重が減ると月経が止まってしまいくちます。体重が減るといふことは体の栄養不足(エネルギー不足)を意味します。すると体は生命の維持(心臓を動かす、呼吸をする、体温を保つなど)に優先してエネルギーを使います。生命維持から最もかけ離れた生殖機能は停止させて、エネ

へと変わっていきます。この体の変化を第二次性徴と呼びます。男子も思春期に上昇しますが、卵巣がないため女子より低値です。成長期の晩や晩までの長い骨の両端は軟骨でできている（骨端線）、成長の原

になりまふ。つまり、身長

の伸びが鈍まふ。7歳末

まで乳房発達月経が始ま

る早発思春期では、過剰な

エストロゲンによつて成長

の停止が生じまふ。いつた

ん骨化した軟骨は元は戻

りまふので、初経後はほ



產婦人科医

今井篤志氏

[illegible]

減少で骨粗しょう症の原因に

上は、の消費を防ぎます。
 つまり無用な防ぎます。
 咽鼻からエントロロゲが
 放出されることを、骨が
 受けとるべきです。
 女性の健康問題の二つに
 骨損という悲惨なもの
 と知られています。若年
 者でも無縁な長らく晩
 骨損という症があります。
 エントロロゲがカルシウ
 ムの骨への取込みを促す
 ことで、エントロロゲが
 いくつ、骨に取込まれる
 カルシウムが極度に減少
 します。カルシウムを多
 量に摂取するだけでは
 いかにも、骨の密度は
 上がりません。
 女性が一生を通じて健
 かな過ごすためには、適
 スロゲン標物質の量が
 必要。しかし、日本は
 水モソリの茶を飲む
 傾向があります。その
 うえ、ホルモン剤によ
 り優れた治療といか
 けられます。かりつて
 気に「相対的」な
 松総合病院腫瘍内分
 野タチー長、羽島郡笠
 田

岐阜新聞 2020.10.28

柔道部が活動再開

松波総合病院 コロナ影響で自粛



稽古に打ち込む参加者ら＝笠松町常盤町、町民体育館柔道場

笠松町田代の松波総合病院は、新型コロナウイルス対策で休止していた柔道部

の活動を再開し、来春に同病院に就職する。入部予定者ら5人が稽古に汗を流した。

今年4月創部。昨秋の団体に出場した松井陽さん(34＝関市)を監督として招いたが、コロナの影響で練習を自粛していた。再開に当たり、練習に参加した5人は同病院でPCR

R検査を受け、陰性と確認した後、同町常盤町の町民体育館柔道場で練習に打ち込んだ。
(長尾剛次)

岐阜新聞 2020.10.30

「人工呼吸器装着
肺に大きな負担」
松波総合病院理事長

が、まれなケースだ。基礎疾患があるかどうかや高齢者かも回復に影響する」と語った。

(浜崎陽介)

人工呼吸器を長期間装着することの体への負担について、松波総合病院（笠松町）の松波英寿理事長（六四）は、一般論と前置きした上で「人工呼吸器を装着することは、肺に大きな負担を掛けることになる。装着が長引くと、肺の細胞を壊すことにもつながり、だんだんと打つ手がなくなっていく状態になる」と説明する。

松波理事長は「二カ月間、人工呼吸器を装着して回復した人もいると聞く

中日新聞 2020.11.5

松波病院、駐車場に発熱専用外来

コンテナでCT検査

コロナの院内感染防止

東海初

新型コロナウイルス感染症などの院内感染防止のため、羽島郡笠松町田代の松波総合病院は1日、病院駐車場の一角に設置したコンテナハウスで医師が診察を行う発熱外来専用施設「Gifu CUBE（キューブ）」を開設した。6棟あり、うち1棟はコンピューター断層撮影（CT）室として利用している。同病院によると、CTを設置したコンテナハウスは東海地方で初めて。



施設専従の医師と看護師を配置しており、新型コロナウイルスやインフルエンザに感染した疑いのある発熱した患者を病院外で診察することができる。

間仕切りが設けられたコンテナ型の発熱外来専用施設の待合室。1日午後、羽島郡笠松町田代、松波総合病院

コンテナハウスはCT室の他に待合室が3棟、診察室、スタッフ室が各1棟。待合室は間仕切りを設け、1棟に4部屋を作った。

松波英寿理事長は「新型コロナウイルスなどの感染拡大を防ぐため、万全な安全対策を講じたい。他の基幹病院でも同様の取り組みが広がれば」と話した。

県内では先月末、岐阜市芥見大般若の河村病院で新型コロナウイルスのクラスター（感染者集団）が発生。県は医療機関に対策の徹底を求めている。（長尾剛次）

岐阜新聞 2020.12.2

コンテナの発熱専用外来

笠松の松波総合病院 運用開始



ギフ・キューブを案内する松波理事長＝笠松町田代の松波総合病院で

新型コロナウイルスの院内感染防止を目的に、松波総合病院（笠松町田代）は1日、病院敷地内に設けたコンテナハウスの発熱外来専用施設「Gifu CUBE（ギフ・キューブ）」の運用を始めた。

敷地内の駐車場に、診察室、コンピューター断層撮影（CT）検査室、スタッフルーム各一基、患者待合

室三基からなる計六基のコンテナハウスを設置した。

今後、発熱患者や新型コロナウイルスへの感染が疑われる患者は全てギフ・キューブで診察、検査を行い、それ以外の患者と完全に動線を分ける。同院によると、コンテナハウスを使ったCT検査室の運用は、東海地方では初めて。

松波英寿理事長は「患者同士の感染防止、医療従事者への感染防止の二つの目的で、インフルエンザの流行が想定される冬季を前に設置した。コロナへの対応と通常の病院業務を両立させるシステムだ」と話した。（長崎高大）

中日新聞 2020.12.2



県介護人材育成事業者認定制度で本年度、グレード1を取得した介護事業者
＝岐阜市学園町、ぎふ清流文化プラザ

県の「ぎふ・いきいき介護事業者」

本年度、15事業者を認定

最高位のG1、計17事業者に

介護人材の育成や職場環境の改善に積極的
に取り組む事業者を代
表者に認定証が手渡さ
れ認定する「ぎふ・い
きいき介護事業者」認
定制度。本年度は3つ
のグレードの計15事業
者（新規認定は6事業
者、9事業者は上位グ
レードを取得）。11月25
日に岐阜市学園町のぎ
ふ清流文化プラザで認
定証授与式が開かれ、
介護人材の育成や職
場環境の改善に積極
的に取り組む事業者を
代表者に認定証が手
渡され認定する「ぎ
ふ・いきいき介護事
業者」認定制度。本
年度は3つのグレイ
ドの計15事業者に
関わり、各事業者の
取り組みの状況に応
じて、3つのグレイ
ドで認定しています。
最上位のグレード1は、
職員のワーク・ライ
フ・バランスの充実に向
けた質の高い取り組み
を行っていることな
どに加え、社会貢献や
介護全体のイメージア
ップに向けた取り組み
を行っていることや、
職員の意見に対しての
検討を行う仕組みが
できていることなど
が求



認定証を受け取る事業者の代表者



社会福祉法人 杉和会（関ヶ原町）
社会医療法人 蘇西厚生会（笠松町）
株式会社 羽島企画（羽島市）
社会福祉法人 恵母の会（海津市）
医療法人社団 友愛会（岐阜市）

認定証授与式には、
12事業者の代表者が出
席。グレード1の事業
者の代表者は、長沼次
長から認定証を受け取
ったあと「この荣誉に
負けないよう、人材確
保、職員の資質向上に
努めていきたい」（杉和
会）「介護人材のみの
ならず、医療も含めた人
材育成に今後も取り組
むことが地域貢献にな
る。引き続き努力して
いきたい」（友愛会）な
ど、さらなる向上を
誓いました。

また、日勤と夜勤を
完全に分けた勤務体制
や定年制廃止などに取
り組む社会福祉法人合
掌苑（東京都）の森一
成理事長の記念講演会
を実施。「介護経営に
おける人材育成と組織
整備について」をテー
マに、魅力ある職場つ
くりの秘けつを紹介し
ました。

認定式と講演会
月末に動画公開
認定証授与式と記念
講演会の模様（動画）
は、今年25日から来年
3月31日まで、県介護
職チャレンジ応援特設
サイト「ぎふ・いきい
きKaiGO」上で
公開予定です。アドレ
ス：https://gin
-iki-kai-go.co
jp/

今回グレード2とグ
レード3の認定を受け
た介護事業者および、
昨年度までにグレイ
ド1を受けた介護事業者
は次の通り。

「グレード2」社会福祉
法人誠心社、株式会社ハ
ッピーエデュケーション、
一般財団法人高山市福祉サ
ービス公社、社会福祉法
人全代田会、同法人敬愛
会、「グレード3」社会福祉
法人ケア21、同法人伝心
株式会社HOTO、株式
会社エーエ、フロンティ
ア株式会社

「昨年度までにグレイ
ド1取得」社会福祉法人新
生会、同法人フエニックス
、特定医療法人フエニッ
クス、医療法人和光会、社
会福祉法人和光会、医療法
人善心会、社会福祉法人大
垣市社会福祉事業団、社会
福祉法人白寿会、株式会
社新生メディカル、社会
福祉法人桜友会、同法人
慶陽会

本年度グレード2を
取得した介護事業者
本年度グレード3を
取得した介護事業者

岐阜新聞 2020.12.5

羽島郡医師会会長で松波
総合病院（羽島郡笠松町）
の松波英寿理事長と化学薬
品メーカーの森六ケミカルズ
（東京都）は23日、新型コ
ロナウイルス感染が疑われ
る患者が車に乗ったままド
ライブスルー方式で検査が
受けられる「カーテン」千枚を
「岐阜カーテン」千枚を
県に寄贈した。

岐阜カーテンは、車の窓
をビニールで覆い、患者と
の接触を避けることで、医
療従事者の飛沫感染を防
ぐ。松波理事長が考案し、
委託を受けた同社が製造。
県内のほか、全国の医療機
関で約6万2千枚が活用さ
れている。

松波理事長と同社の広瀬
宇宏執行役員が県庁を訪
れ、2人は「官民一体とな
って、感染拡大を防いでい
きたい」と話し、古田肇知
事に目録を手渡した。古田
知事は「カーテンはシンプ
ルで画期的。大切に活用し、
コロナを乗り越えていく」
と感謝した。（湯浅裕作）

「岐阜カーテン」県に1000枚

コロナのドライブスルー検査で考案



古田肇知事に岐阜カーテンを寄贈した松波英寿
理事長（右）と広瀬宇宏執行役員＝県庁

岐阜新聞 2020.12.24

[illegible]

リハビリで半数が回復

- ①自分の健康状態は、普通かそれ以上である。
- ②毎日の生活に満足している。
- ③1日に3食ちゃんと食べている。
- ④半年前よりもっと面白いものが食べられる。
- ⑤さみしいか、たくさんだ。
- ⑥お茶や汁物などでもむせることはない。
- ⑦6カ月間で2~3%以上の体重減少はない。
- ⑧以前と同じような速度で歩くことができる。
- ⑨この1年間になんか進歩はしていない。
- ⑩ウォーキングなどの運動を週に1回以上している。
- ⑪周りの人があらと「いつも同じことを聞く」などの物言いがあつたと言っている。
- ⑫今日が何月何日かわかる。
- ⑬たばこは吸わない。
- ⑭週に1回以上は外出している。
- ⑮毎週6時から家族や友人と付き合っている。
- ⑯体調が悪いときに、身近に相談できる人がある。

いいえが 0個	健康です
いいえが 1~2個	フレイルの手前です
いいえが 3個以上	フレイルの可能性あり

フレイル健診電話窓口から改定



上野勝己氏

術は症状の改善には有効ですが、残念ながら、薬物療法に比べて生命予後は改善しないことが分かってきました。

「健康状態は、ワレルがかなりよくなっている。特に下半身は、かなり改善された。入院したころは、歩くことが出来なかった。入院して一週、ワレル状態が低下してきて、その後の半ばで順調になってきた。ワレルとは、英語の「faller」で、英語やオーストラリアの英語で、男が年をとると、能力が低下してきて、彼がもう不器用になったというのですね。この過程の途中の期間をワレルと呼びます。健康状態はワレル（要介護一死）」

最近では、ワレル状態になっても、半数以上の人は年相応の健康状態を維持できると報告されている。ただし、和泉地区では、30代歩行できない（「腰折れ道が歩けない」）、片足だけ力があつた（「トイレットが歩かない」）、トイレットが歩かないという、ほとんどの人がいなくなつて、ごく少数の人になつてきた。今、約半世紀後の参観した、スレック、バラン

高齢者健診に追加、早めの対策を

40歳以上の人間は、銀行に
 預金しては、お金の増殖に
 成功する。お金の増殖は、
 銀行に預けるよりも、株式
 市場に投資する方が、有利
 である。株式市場に投資す
 るには、株式の購入が必要
 である。株式の購入には、
 株式の価格を知る必要がある。
 株式の価格を知るには、
 株式の市場を知る必要がある。
 株式の市場を知るには、
 株式の市場の仕組みを知る
 必要がある。株式の市場の
 仕組みを知るには、株式の
 市場の歴史を知る必要がある。
 株式の市場の歴史を知る
 には、株式の市場の発展の
 歴史を知る必要がある。

岐阜新聞 2020.12.30



〒501-6062 羽島郡笠松町田代185-1
TEL.058-388-0111

治 革	1902年 / 岐阜市加納に松波病院を開設 1933年 / 笠松市に松波外科医院を開設 1988年 / 南館 (SOUTH WING) 開設437床 2014年 / 北館 (NORTH WING) 開設501床
従業員数	1,320人
	社会医療法人 関西厚生会理事長 / 松波 英一 松波総合病院 病院長 / 松波 和 まなみ健康増進クリニック 院長 / 花立 史 介護老人保健施設 施設長 / 若井 雅 まなみサニタリーパーク 所長 / 林

<http://www.matsunami-hsp.or.jp>

全国初の画期的なコロナ対策

熱した患者を病院の建物の外で診察することができず、診察前からしかりと動線を分けることで、医療従事者を守り、患者同士の感染を防ぎ、医療崩壊を回避することにもなります。こうした「GifucURTAIn」は

「コロナとの共存を目指すために、われわれができることを最大限やるしかありません。正しく怖れ、マスク、手洗い、うがいをしっかりと行っているだけでいいです」。

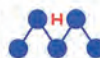
て患者個別の待合室、診察室、スタッフ室までもを総合して院外に設けた病院は全国でも病院が初めてです。

この施設を活用すれば、コロナやインフルエンザに感染した疑いのある発

コロナ感染の疑いのある患者自身がお一人で車に乗ったままドライブスルー方式でPCR検査が受けられ、医師らの感染リスクを軽減するために独自に考案したヒニールカーテンです。車の

昨年を振り返ると、新型コロナウイルス感染症対策に振り回された一年でした。上半期は経済的にも厳しく大変でしたが、下期になんとか持ち直してきたようです。

「コロナ禍に行った対策は、院内感染を防ぐために、昨年の12月から、病院駐車場の一角にコンテナハウスで医師が診察を行う発熱外来専用施設「Gifucube（ギューブ）」を開設しました。全部で6棟のコンテナがあり、コンピューター断層撮影（CT）室のほか、発熱外来専用施設とし



社会医療法人会 松波総合病院



理事長 松波 英寿氏



高齢化が進む「ロコモティブシンドローム（ロコモ）」「サルコペニア」という言葉を知る機会が増えました。ロコモは移動機能の低下、つまり動けなくなる状態を指しますが、その原因の代表的なものに筋肉量の減少（サルコペニア）があります。筋肉の維持にはタンパク質の摂取が最も重要です。私たちが生きていくためにはタンパク質、糖質、脂質の三大栄養素が不可欠です。食物に含まれるタンパク質は消化酵素でアミノ酸に分解され小腸で吸収されます。取り込まれたアミノ酸は体内の各部位に運ばれ、体を構成する筋肉や内臓のみならず、ホルモンや酵素など生理作用を持つタンパク質に再合成されます。

移動機能の低下防止

タンパク質で筋肉維持



産婦人科医

今井篤志氏

食物のタンパク質は、植物性タンパク質と動物性タンパク質に分けられますが、タンパク質の種類によってアミノ酸の組成や消化吸収にかかる時間などが

異なります。アミノ酸は、食事からしか取れない必須アミノ酸（9種類）と体内で合成できる非必須アミノ酸（11種類）に大別されます。アミノ酸はタンパク質の材料になる成分です。しかし、体内で作れない必須アミノ酸のうち一つでも不足すると、それを材料に含むタンパク質が十分に合成されません。おけの水に例えることがわかります。図1、おけの水は板の最

も低い高さまでしかたまりません。つまり、他のアミノ酸が豊富にあっても、必須アミノ酸の量が一番少ない1種類の量（図2の場合、アミノ酸6）に合わせて分しか、タンパク質が作られません。タンパク質の再合成に使われなかったアミノ酸は貯蔵できません。余ったアミノ酸はエネルギー源として使われるほか、脂質や糖質の合成、他のアミノ酸の合成など、本来の役割とは異なる用いられます。理想的な食物タンパク源の目安として、必須アミノ酸のバランスが重要な動物性タンパク質は、このバランスが優れています。肉類は脂質やコレステロールも多く、動物性タンパク質を取ればよいというものでもありません。一部を大

アミノ酸をバランスよく摂取

豆などの植物性タンパク質に置き換えれば理想的なタンパク源となります。アミノ酸は最終的に老廃物である尿素になります。この尿素を過剰に体外に出しているのが腎臓です。腎機能が低下している場合には、必須アミノ酸をバランスよく含む良質なタンパク質を必要な量だけ摂取し、腎臓の負担を軽くします。筋肉は使わなければ、痩せ細りタンパク質が失われます。菓子パンとコーヒードで朝食を済ませ、階段を上らずエレベーターを使う人は筋肉がどんどん減ります。筋肉の原料となるタンパク質に富んだ乳製品や豆料理を朝食に選び、移動には階段の上り下りと早歩きを習慣づければ、しっかりと筋肉を作れます。自分の年齢や生活習慣を見直して、意識的に「筋肉貯金」を増やすようにしましょう。（松波総合病院診療内分泌センター長・羽島郡登松町田代）

岐阜新聞 2021.1.20

コロナ治療一丸 全職員に慰労金 笠松の松波総合病院

新型コロナウイルス感染症の治療にあたる松波総合病院（笠松町）は二十九日、全職員約千三百人に「特別慰労金」を支給した。同病院では十五の新型コロナウイルス用病床を運用するほか、PCR検査を実施するなど新型コロナウイルス対応に従事。患者に直接対応する職員に「危険手当」を支給している。職員らのモチベーションの向上とチームワークの醸成を目的に、今回初めて全職員への慰労金の支給を決めた。金額は明かし

ていない。中央放射線室の職員らは福田武部長から「ご苦労さま、今後よろしく」などとねぎらわれ、慰労金を受け取った。同室の竹中育美さん（30）は「これからも一丸となって、コロナに立ち向かっていきたい」と力を込めた。（形田怜央菜）



特別慰労金を受け取る職員ら＝笠松町田代の松波総合病院で

中日新聞 2021.1.30

ワクチン普及後 油断禁物 松波総合病院医師 八十川雄図さん(46)



コロナ
最前線

当院の救急医療センターには平均して、二十四時間で患者十人が搬送されます。発熱している患者は新型コロナウイルスの感染を疑い、センター内での飛沫防止と検査時間短縮のため、救急車から降ろしたら、すぐに屋外で患者の鼻から検体を採取しています。

検査にはPCR検査だけでなく、時間を短縮できる抗原検査も用います。それでも検査で、患者のセンターでの滞在時間は一時間ほど長くなります。救急用のベッドは狭い上に硬く、寝返りもできないので心配になります。

発熱している患者はなるべく自分で診察するように心掛けていますが、医師と協力して診察する診療看護師の補助にも大変助けられています。一緒に働く十五人の医師や看護師、事務員はチーム。誰にも感染させたくありません。

この冬は例年より低い発熱でも受診する人が多く、病棟が混みました。今後警戒しなければならぬのは、ワクチン接種が進むことによって、感染を防止する気が緩んでしまうこと。一般の人にはマスクを外す時間を減らし、感染防止の対策を続けてほしいと思っています。(松波総合病院 岐阜県笠松町 救急総合診療科部長)

中日新聞 2021.2.3

4月以降に予定されている65歳以上の高齢者に向けた新型コロナウイルスのワクチン接種に備え、羽島郡笠松町、岐南町と同郡医師会は19日、車に乗ったまま接種が受けられるドライブイン方式の会場運営訓練を、笠松町田代の松波総合病院の立体駐車場で行った。同医師会によるとドライブイン方式のワクチン接種訓練を実施したのは国内初。

接種後、経過観察のため、被接種者は現場に15分以上待機しなければならないが、同方式では他人と接触することなく車内で待つことができ、足腰が悪い人も車内で座ったまま接種を受けられるメリットがある。

医師や看護師、両町の職員ら約40人が訓練に参加した。被接種者に見立てた町民が運転する車10台が所定の位置に駐車。同病院理事長の松波英寿、羽島郡医師会長の考案した、車の窓に張る注射器を

ドライブインで「接種」



車の窓からカーテン越しにワクチン接種の訓練をする看護師(左)
= 19日午後2時48分、羽島郡笠松町田代、松波総合病院

笠松町と岐南町、本番控え訓練

入れる穴を開けたビニール製の「岐阜カーテン」を各車両に取り付けた後、保健師が看護師がカーテン越しにワクチン接種する手順で行った。

対象者は経過観察のため車内で待機。意識に問題がないか調べるため、保健師が数分置きに返答を促すボードを掲げ、対象者はハンドサインで異常がないことを伝えた。

ワクチン接種は集団接種と「かかりつけ医」で受ける個別接種に分けられ、各市町村で実施方法はさまざまだが笠松、岐南両町は主に集団接種を行う予定。ドライブイン方式と、公共施設を会場に行う2パターンで実施する。

松波会長は「待機スペースなども要らず、医師や看護師らの分業により効率良く接種できる。訓練で見つけた課題を改善し、本番に臨みたい」と手応えを語った。

(長尾剛次)
(岐阜新聞Webに動画)

岐阜新聞 2021.2.20

「ドライブイン方式」検討

新型コロナウイルスワクチン接種で、笠松、岐南両町は「ドライブイン方式」での実施を検討している。両町と羽島郡医師会が19日、笠松町の松波総合病院で行った会場運営訓練に、記者も接種対象者の役で参加した。細かい部分では課題も見えたが、会場での感染リスクを抑える手法としての可能性を感じた。(長崎高大)

笠松、岐南町 羽島郡医師会が訓練



「ドライブイン方式」は、施設などで行う集団接種と比べ、感染リスクの低減や時間あたりの接種人数が増えることが利点だ。方式のPCR検査に指差を得て考え手法という。公

ワクチン接種へ着々



接種可能なかどうかを判断する医師による予診では、アレルギーや服用薬の有無などを尋ねられた。「発症予防効果約95%」などと書かれたワクチンの利点と、「筋肉痛、悪寒、下痢、発熱、接種部位の腫れ(10、50%)、吐き気、嘔吐(1、10%)」などと書かれた「副作用」が示された。

接種可能かどうかを判断する医師による予診では、アレルギーや服用薬の有無などを尋ねられた。「発症予防効果約95%」などと書かれたワクチンの利点と、「筋肉痛、悪寒、下痢、発熱、接種部位の腫れ(10、50%)、吐き気、嘔吐(1、10%)」などと書かれた「副作用」が示された。

自家用車の助手席の窓「岐阜カーテン」を開け、接種を受ける参加者たちも、いずれも松波総合病院で。

感染リスク抑制に可能性



駐車場内に止めた自家用車内、ワクチン接種の訓練を受ける記者等

「通常の2、3倍の効率」

笠松、岐南両町は、三月中旬の医療従事者や対象とした優先接種からドライブイン方式を始める方針。四月以降の一般市民を対象とした接種でも、通常の集団接種や個別接種とともに導入していく予定。

ワクチンの副反応の「二種類」のボードを提示された。そして接種へと移った。岐阜カーテンには六、七、四方の穴が開いており、そこから腕に筋肉注射を打たれることになる。状態観察の間隔では二分、七分、十五分の間隔でスタッフが訪れ、異常がないことを手ぶりで伝えるよう求められた。スタッフのコミュニケーションは、文章が書かれたボードを渡ったり、身ぶり手ぶりを交わしたりと、りがほとんどだった。参加した看護師の増井法子さんは「岐阜カーテンの穴の位置や形状、張り方を工夫すれば、もっとスムーズに接種できた。全体としてはいく予定だ。」

ドライブイン式 笠松で初訓練



新型コロナウイルスワクチンの集団接種で、車に乗ったまま接種を受ける「ドライブイン方式」の訓練が十九日、岐阜県笠松町の松波総合病院であった。同病院によると、この方式での集団接種訓練は全国初。

立体駐車場を会場に、医療関係者約四十人が参加。同院が開発した防護シート「岐阜カーテン」を利用し、車を誘導した後の予診、接種、経過観察など一連の流れを確認した。看護師はカーテンに開けられた穴から、利き腕とは逆の腕にワクチンを打つ訓練をした。松波英寿理事長は「広い駐車スペースやスタッフの人数は必要だが、条件が整えば公民館や学校を会場にした通常の集団接種よりも時間当たり接種人数を増やせて、会場での感染リスクも低くなる」と話した。

ドライブイン方式訓練 笠松の病院



「ビールカーテン」に開けた穴から接種を受ける住民役の男性。笠松町田代

笠松町の松波総合病院では19日、院内の立体駐車場に「ドライブイン方式」の新型コロナウイルスのワクチン接種訓練を行った。同町と岐南町、同病院などが協力して行う「羽島郡モデル」の訓練で、住民役は車に乗ったまま、最低限の接触で「接種」を受けた。10人の住民役は、車内で問診を受け、看護師役は「ビールカーテン」に開けた穴から注射器を差し込んだ。接種後15分間は車内に残り、異常がないことを確認して帰宅できる仕組みだ。同病院によると、ドライブイン方式で接種訓練を行うのは国内で初めてという。松波英寿理事長は「車の社会の地域ではこのモデルを生かすことができる。空港の駐車場など、広い駐車場があれば実施できる」と話した。羽島郡では、医療従事者や高齢者の接種にあたり、ドライブイン方式と、公民館などの集団接種を併用する予定だ。

朝日新聞 2021.2.20

最期の時顔を見て

リモートみとり・火葬場で小窓越し

県内 感染者遺族思い対応変化



ひびきのに載せた病体袋を説明する鈴木雅典さん。美濃加茂市本町 葬儀葬祭

新型コロナウイルス患者のみどりや臨終後の故人との対面に変化が生じている。昨年、感染が拡大した初期は病院の面会だけで、死後の対面も制限されるが多かった。県内で初めて感染が確認されてから1年がた、徐々に別れの場を設ける病院で、火葬場で遺族と対面の時間をとる葬儀が出てきた。感染防止図りながら、患者や遺族の心情にどう寄り添うのか、関係が続いている。

（松浦健司、三輪真子）

対話で、画面を通して最後の面会を済ませることもできる。患者が亡くなった遺族が濃厚接触者でなければ、霊安室などで納体袋に入った故人との別れの時間を設けている。担当者は「面会や接見が制限される中で、家族の思いに寄り添った」と話す。

岐阜市内にある総合病院は「可能な限り最期の時には立ち会えるようにしたい」と説明。入院中の患者は禁止だが、昨年12月から臨終の際に亡くなった後に限り、防護服や手袋の着用といった感染対策を徹底した上で、遺族と対面の機会を設けた。ただ担当者は「対象の患者は発症から10日以上経過し、他人への感染力がなくなつたとみられていることが基本。家族が濃厚接触者になっていない限り、実施はケース・バイ・ケースなどがあるとする。可成り地域で葬儀場を運営

する葬儀葬祭（美濃加茂市本町）は昨年4月から今月までに、10件超のコロナ患者の葬儀を引き受けた。葬儀葬祭は、死亡から24時間経過後、埋葬もしくは火葬すると規定するが、コロナ患者の遺体は政府などで24時間以内の火葬が可能。同社によると、ほとんどの遺族が病院から火葬場への直送を望むという。

同社は火葬場に到着後、屋外でわずかな時間だが、ひびきの小窓を開け、遺族に納体袋の中の遺体と対面できるようにした。顔が見やすいよう、コロナで亡くなった人が増えた年明けから、半透明の納体袋を用意。遺族の窓口を維持するエグゼクティブディレクターの鈴木雅典さん（46）は「ほとんどの受けない状態のまま家族を亡くした遺族が、気持ちの打ち合いを過ごされるように」と語る。

コロナ患者が亡くなった後の対応を巡り、世界保健機関（WHO）はガイダンスで「遺体との対面手指衛生など徹底すれば、感染のコントロールは可能」と指摘。厚生労働省も「産業者が昨年7月に作成したガイドラインでも、マスクや消毒液をしない遺族からの飛沫感染のリスクは低い」と説明する。厚生労働省は昨年12月、感染症専門家の研究班が作成した「診療の手引き」を改訂し、患者が亡くなった際、「遺族に感染対策を行いながら、病室で別々の時間を設ける」ともできる」という記述を追加した。

岐阜新聞 2021.3.9

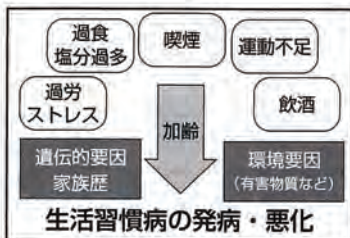
腎臓の血圧調節を抑制

新型コロナウイルスの話で一色今年2月、日本のバイオ製薬企業が、高血圧ワクチンのヒトでの臨床試験を始めるを発表しました。この企業は、日本製のコロナDNAワクチンの開発でも期待されています。

高血圧の治療薬は、血管の緊張を取るもの（血管拡張薬）と、腎臓に血圧調節をブロックするもの（レニン・アンギオテンシン系阻害薬）があります。高血圧ワクチンの仕組みは、ワクチンによって、腎臓のアンギオテンシンに対する抗体を私たちの身体に作らせて、腎臓の血



高血圧ワクチン



循環器内科医

上野勝己氏

圧調節（レニン・アンギオテンシン系）をブロックして血圧を下げるのです。30年前から開発が始まりましたが、十

分は降圧効果が得られなかったです。今回、高血圧ワクチンによってアンギオテンシンに対する十分な抗体を作ることに成功したため、ヒトでの臨床試験を始めるのとです。

同様に、生活習慣病に対するワクチンの開発も進められています。肥満ワクチンや薬煙ワクチン、糖尿病ワクチンなどです。

ポリファーマシー（5種類以上の薬を飲むことによるさまざまな有害事象）といて、生活習慣病に対する飲み薬は年々増えていくでしょう。薬を毎月もらいに行く手間と時間もほかになりません。とりわけ働き盛りの世代こそ生活習慣病を行きたくないようにし

生活習慣の改善も必要

しかし生活習慣病の原因は、体質的な問題に加えてストレスや生活習慣などが複雑に絡まっています。私たちは必ず老いていきます。頭がきつてくると、若いときに血管は硬くなり、消化管の動きも弱り、インスリンの動きも弱っていきます。ワクチンの時代になっても年齢に合わせて生活習慣を変えていく努力は必要でしょう。加齢に逆らわず、少なく食べ、程よい運動をすること、体を冷やさないことが大切です。

（松波総合病院心臓疾患センター長、羽島郡笠松町田代）

岐阜新聞 2021.3.24

医療と柔の道両立を後押し

松波総合病院 柔道部発足1年



発足から1年を迎える松波総合病院の柔道部で、選手と汗を流す松波英寿総監督（中央）＝羽島郡笠松町常盤町、町民体育館

羽島郡笠松町田代の松波総合病院に柔道部が発足して、1年がたつ。当初は新型コロナウイルスの影響で自粛していた活動が昨年10月に再開され、今月には部員が公式戦に出場するまで本格化している。日本のお家芸の柔道だが、全日本連盟への登録が団体、個人とも減少がかららない状況の中、地域の中核病院が医療だけでなく、柔道界にも貢献しようと動き始めている。

（玉田健太）

実業団登録 五輪選手輩出が夢

同連盟によると、個人の登録会員数は2006年度以降、少子化の影響などから右肩下がりが続く。06年度は20万2253人だったが、18年度に初めて15万人を割り、19年度は14万3459人。団体も18年度と19年度を比較すると243減となっており、今年度も個人、団体ともに大きく減少しているという。

「礼節、精神、体力を向上させるスポーツで、生涯を通じて実践するのに適している」とも珍らしいという。

松波総合病院では、勤務時間を配慮するなど、部員が仕事と選手生活を両立できる環境を整える。松井陽子監督35になると、実業団登録している病院は全国的にも珍しいという。

松波理事長は「一部のプロを除いてスポーツに打ち込む多くの選手は、引退後の生活に保証がないのが現実」と思いを語る。部員の神島剛さん23は「（柔道以外）何も知らない30歳を今まで見てきた。社会人としてのスキルを身に付けてながら、柔道に取り組むことができるのはありがたい」と感謝を口にしている。

所属選手は4月に入部する選手を含めて2人とまだ少ないが、2、3年先までに数人が加わる予定で、男女とも団体戦に出場し、いずれ五輪選手を輩出するのが夢だ。松波理事長は「いつか五輪選手が誕生したら子どもたちの憧れの的になり、柔道をやるうとしたい子が地域で増えると思う。青少年の育成に貢献できた」と力を込める。

岐阜新聞 2021.3.28

創部1年、決意新た 松波病院柔道部が式典



あいさつで柔道部創部への思いを語る松波英寿理事長＝羽島郡笠松町常盤町、町民体育館柔道場

羽島郡笠松町田代の松波総合病院は28日、昨年4月の柔道部創部から1年になるのを契機に活動を本格化させようと、同町常盤町の町民体育館柔道場で創部式典を開いた。

柔道高段者でもある同病院の松波英寿理事長(64)が、医療従事者の業務と柔道を両立させ、社会貢献できる団体をつくらんと、昨年4月に創部した。団体出場経験のある松井陽子さん

(35)＝関市を監督として招いたが、新型コロナウイルスの影響で活動を休止。昨年10月から徐々に練習を再開、これまでに公式戦にも出場した。現在は4月から就職する1人を含め部員2人で、来年以降4人が入部の予定。

式典は、同病院と関わりのある大学や高校、県柔道協会の関係者ら約30人を招いて開催。総監督の松波理事長が「医療従事者として働きながら柔道のトレーニングができ、現役引退後も動き続ける環境をつくりたい」とあいさつ。部員が紹介され、県内選手による柔道形の記念演武も披露された。(土屋健一)

岐阜新聞 2021.3.29

実業団チームへ本格始動 松波総合病院柔道部が創部式典

笠松



松波総合病院柔道部の創部式典に出席した関係者ら＝笠松町民体育館で

発足から一年たち、本格的に活動を開始した松波総合病院(笠松町)柔道部の創部式典が二十八日、笠松町民体育館であった。今後、実業団チームとして各種大会への出場を目指す。総監督を務める病院の松

波英寿理事長(64)は六段の腕前。社会人になっても競技を続けたい選手をバックアップしようと、昨年四月に創部した。選手の募集を始めたが、新型コロナウイルスの影響で大会の延期や中止が相次ぎ、思うように活動できないでいた。

そんな中、一月に明治大出身の神鳥剛選手(23)が入部。四月には愛知大の田中大地選手(23)が入部する。二人は先月の全日本柔道選手権東海地区予選に出場し、実業団として始動した。男女とも団体戦に出場できるだけの部員を集める方針。

神鳥選手は業務部に勤務しており、田中選手は総務部に配属予定。来年以降にも数人が入部を予定している。

練習のため、勤務時間は一部短縮。現在は週六日、二人の出身校でもある大成高校(愛知県一宮市)などで出稽古をする。

約二十人が出席した式典で、松波理事長は「礼を大切に柔道の精神で対応していただければ、患者さんに良い影響を与える。活躍は他の職員の励みにもなる」とあいさつ。神鳥選手は「結果を出すことが恩返しになる。どんな試合でも、やるからには一番を目指す」、田中選手は「仕事をしながら柔道が続けられることに常に感謝しながら結果を残していきたい」と意気込みを語った。

式典では、県内の選手らによる柔道形の記念演武もあった。(浜崎陽介)

中日新聞 2021.3.31